

事業概要【環境と経済が両立した「地域循環共生圏」形成事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	584,316千円（99,998千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・森・里・川・海のつながりを再現するモデルの構築と公開により、オープンイノベーションを促進する ・脱炭素に向けた県民のライフスタイル転換への行動変容を多方面から促す ・産学官金が一体となった支援体制を構築し、中小企業のカーボンニュートラルの実現を目指す ・市町による持続可能な取組を支援し、環境と社会経済が調和する「地域循環共生圏」の形成を目指す		
事業概要・ 主な経費	○森・里・川・海の関係の科学的知見の充実と県民理解の促進 ・モデルを活用した研究への支援（委託料ほか）7,937千円 ○県民の脱炭素化に向けたライフスタイル転換 ・スマホアプリを活用した運動の展開（負担金）6,728千円 ○中小企業の脱炭素経営への転換 ・「企業脱炭素化支援センター」の運営（委託料）24,666千円 ○地域循環共生圏の形成 ・地域循環共生圏の形成に資するプロジェクトを推進する市町への支援（補助金）60,667千円 ※経費内訳はR7年度事業費		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①静岡県内の温室効果ガス削減率（2013年度比） （-14%） ②再生可能エネルギー導入量（+17.4万kl） ③森づくり県民大作戦参加者数（+16,102人） ④地域循環共生圏の形成に向けたプロジェクトに取り組む 市町数（+33市町）	関連URL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html



事業概要【静岡県農林技術研究所茶業研究センター『新研究棟・基盤技術研究棟』施設整備計画】

旧制度（拠点）

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,210,804千円 (286,560千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分） ※R7年度はR6年度補正予算により早期執行	事業分野	農林水産分野
目的・効果	本県茶業の再生を図るChaOI（チャオイ）プロジェクトの拠点として、茶業研究センターを再整備し、国内随一の茶業研究プラットフォームを構築する。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	本県茶業の収益性を高め、茶産地の活性化につなげることを目標として、茶業の技術革新を進める拠点となる静岡県農林技術研究所茶業研究センターの施設及び設備を再整備する。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 100,144千円 【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費 35,211千円 機械設備工事費 50,842千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 機器整備費 100,363千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①茶産出額（+69億円） ②茶輸出額（+47億円） ③茶有機栽培面積（+365ha） ④ChaOIフォーラム会員数（+170会員）	関連URL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html



事業概要【東アジア文化都市2023静岡県開催と連動した誘客促進事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	485,879千円（170,409千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・文化的魅力を活かした持続的な観光誘客を図る ・旅行スタイルの多様化への対応に向けたデジタル社会の形成を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○文化振興による地域社会の発展に向けた取組 ・県立劇団SPACによるイベントの実施（負担金）45,000千円 ・「演劇アカデミー」による人材の育成（委託料）15,000千円 ・温泉文化を国内外に発信するイベント開催（役費費、委託料）5,700千円 ・文学と他分野とのコラボレーションイベント（負担金）2,750千円 ・静岡県立美術館のコレクションを活用した企画実施（役務費、委託料）4,000千円 ・民俗文化財の魅力PR動画等作成、発信（需用費、委託料）2,959千円 ○観光デジタル情報プラットフォームの機能強化・活用 ・プラットフォーム運営（委託料、負担金）30,000千円 ・データ収集・発信機能強化（委託料、負担金）30,000千円 ・利用拡大のためのイベント運営等（委託料、使用料、負担金）15,000千円 ・市町への伴走支援（負担金）20,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人宿泊客数（+223万人） ②1年間に文化・芸術の鑑賞または活動を行った人の割合（+34%） ③観光交流客数（+7,902万人） ④TIPSアプリのダウンロード数（+75,000件）	関連URL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html

事業概要【若者の県内就業拡大事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	404,323千円（160,664千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	若者世代の転出超過に歯止めをかけるため、本県で活躍したいと思う若者や次代を担う人材の確保に取り組む ・若者の就職志向と県内産業構造のミスマッチ解消に向けて、企業の誘致や県内産業の育成を図る ・若者の県内就職促進に向けて、県内大学生及び本県出身の県外大学生、移住希望者への地域企業の認知拡大を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○若者に魅力ある企業の集積・定着推進 ・新手法による誘致対象候補の明確化（委託料）2,300千円 ・企業誘致専任職員配置（報酬・役務費 ほか）7,180千円 ・県内企業とのマッチング支援（報償費、旅費 ほか）660千円 ・市町や金融機関等との相談会（需用費、委託料）6,721千円 ・研究開発、事業化促進（補助金）50,000千円 ・スタートアップピッチイベント開催（委託料）10,000千円 ○県内学生の県内就職促進 ・地域志向型単位互換授業の実施（委託料）1,900千円 ・大学による県内定着促進事業への支援（委託料）1,271千円 ・キャリア教育プログラムの運用（委託料）1,755千円 ○県外学生・若者のU・Iターン促進 ・動画や情報誌、ウェブサイト等による大学生・若者向けの情報発信（委託料）18,877千円  若者に魅力ある企業の誘致に向けたセミナー・相談会		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 県外大学の県内出身の全就職者のうち、県内企業に就職した学生の割合（+3.8%） ② 県内大学卒業就職者の県内企業等就職割合（+2.7%） ③ 企業進出決定数（情報通信やデザイン等のサービス業）（+38件）	関連URL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html

事業概要【若者・子育て世代の移住定住促進事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	96,153千円（27,740千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・若者・子育て世代に選ばれ、住み続けられる持続可能な地域の形成を図る ・若者・子育て世代の更なる呼び込みを図る ・若年層の「結婚」を機とした県外転出の抑制を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○テレワーク移住の促進 ・ターゲティング広告の実施（委託費：300千円） ○若者と地域との関わりの創出 ・専属コーディネーターの配置（人件費、旅費：4,980千円） ・ウェブサイトの運用、若者による情報発信の企画 (委託費等：2,266千円) ・若者と地域の関係づくり優良事例の普及、団体間ネットワーク構築 (委託費：4,340千円) ・NPOを対象とした外部人材の受入プランの立案と若者等とのマッチング支援（委託費：7,800千円） ・NPOのネットワーク構築のための交流会の開催 (委託費：8,054千円)  団体間ネットワーク構築のための交流会		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住相談窓口等を利用し県外から移住した20代から40代の子育て世代の世帯主数（+376人） ②若者が参加できる地域づくり活動の支援数（+105件） ③ふじのくに出会いサポートセンターの会員数（+1,112人）	関連URL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html

事業概要【仕事と子育てを両立する働き方の導入支援事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	225,828千円（84,190千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	○仕事と子育ての両立を支援する環境づくりを支援する ・県内企業に対して、従業員が仕事と子育てを両立することができる環境づくりを支援 ・出産・育児等で長期離職している女性等の働き手に、デジタルスキルを身に付ける機会を提供し再就職を支援 ・クラウドワークサービスの利活用促進により、子育てと両立できる働き方を提供する環境整備を支援		
事業概要・ 主な経費	○多様な働き方導入推進巡回訪問 ・支援員が県内企業を訪問し、テレワークの導入や女性活躍の推進への働きかけを実施（委託費）11,908千円 ・くるみん認定の取得を促進するための動画広報や専門知識を有するアドバイザーによる伴走支援（委託料）8,000千円 ○仕事と子育て（介護）の両立推進 ・男性育児休業長期取得応援手当、企業認証制度の広報（委託料）2,000千円 ○オンライン講座（ITスキル向上講座）の開催 ・講座開催、事務局運営費（委託料）28,913千円 ○ローカルクラウドワークサービス ・以下の内容を実施し、クラウドワークサービスの利用活用を促進 意識啓発・情報発信（委託料）1,000千円 受注ワーカー等の人材育成（委託料等）15,369千円 仕事の紹介等の受注支援（委託料）11,000千円 ワーカーコミュニティの形成（委託料）6,000千円		
※経費内訳はR7年度事業費	 いつでもどこでも誰でもできる！ 静岡県ではじまる 多様な新しい働き方 ←しずワーク（クラウドソーシングを活用した働き方の実践支援）  29日以上の子育て休業を取得した男性へ 県独自の手当を支給します 男性育児休業 長期取得 応援手当 5万円 上限 ←男性の育児休業長期取得促進応援手当の支給		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①仕事と子育て（介護）の両立支援・職場環境づくりに取り組んでいる企業の割合（+8.8%） ②オンライン講座（ITスキル向上講座）により新規就業実現した者の数（+150人） ③クラウドワークサービスによる受注ワーカー数（+200人）		
	関連URL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html	

事業概要【地域資源を生かした脱炭素化の取組による持続可能な地域づくり形成事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	217,781千円（69,330千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	自動車産業をはじめ、ものづくり産業が盛んな静岡県では、温室効果ガス排出量の約6割を産業・業務部門が占めており、持続可能な地域づくりに向けて、中小企業等の脱炭素経営への転換や省エネ・再エネの導入、次世代自動車への対応、さらに、消費者のライフスタイルの転換や地球環境問題に積極的に取り組む人材の育成を進めることにより、地域の脱炭素社会への転換を推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○中小企業及び消費者（家庭）の意識の転換（39,870千円） ・金融機関と連携した中小企業等の実践支援（委託費等） ・大学生・高校生など将来を担う人材育成ワークショップ（負担金） ・地域コミュニティでの節電・省エネ講座（委託費等） ○企業への脱炭素化支援（3,060千円） ・J-クレジットの地産地消に向けたマッチング支援、審査費用支援（補助金等） ・県有林でのJ-クレジット取得実証、取得への技術支援（役務費等） ○次世代自動車に対応した試作品開発・事業化助成（26,400千円） ・県内企業の次世代自動車対応のための試作品開発への支援や事業化に向けた支援（補助金）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①次世代自動車の試作品開発等支援件数（+48件） ②新たに環境経営に関する制度に参加し取り組む事業者数（+225件） ③県内の電力消費量に対する再生可能エネルギー等の導入率（+4.8%）		関連URL https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html

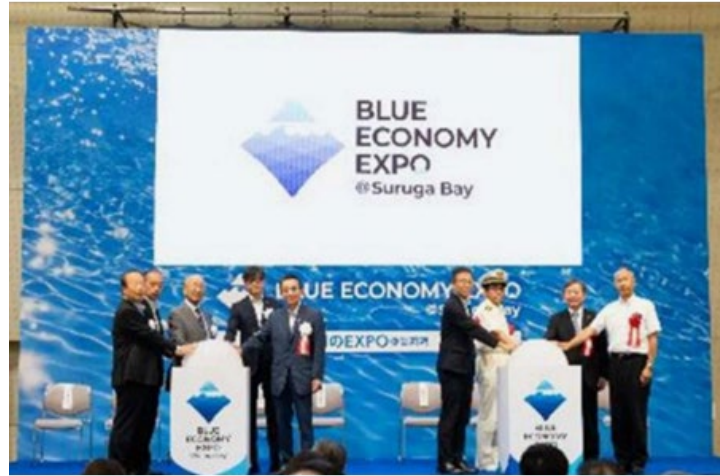
事業概要【バーチャル・シズオカ推進事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	262,000千円（99,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	3次元点群データによる「バーチャル・シズオカ」や東京都との共同運営を行う「デジタルツイン3Dビューワ」を最大限活用しつつ、現実空間での位置情報測位の精度を向上させることで、本県の「場の力」を活かしながら、データをあらゆる分野へ活用することにより、地域の稼ぐ力や生産性の向上、新たな担い手の確保につなげ、様々な社会的課題に対して効率的に対応し、地域の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 電子基準点の設置やデータを活用した先導的モデル事業等を実施するとともに、民間事業者等の取組を支援する。更に、産・学・官の連携を加速させるために、「新技術交流イベント」の取組を強化する。 【主な経費】 ベースとなる電子基準点の設置・データ取得 ・電子基準点の設置、データの取得・公開（委託料） 89,000千円 データを活用した先導的モデル事業の実施 ・「新技術交流イベント」の開催（使用料等） 6,000千円 機器設置費用 ・アンテナ、データ配信用パソコン等設置（委託料） 4,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①バーチャル・シズオカのデジタルツイン環境を活用した民間事業者数（+1,500件） ②電子基準点を活用した測量設計業務件数（+300件） ③「新技術交流イベント」のバーチャル空間への参加者数（+600人）		（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html （効果検証） https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html

事業概要【海洋版デジタル田園都市国家構想のモデル構築事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,120,145千円 (197,235千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・海洋をテーマに、地方による先導的取組を国全体、将来的には世界へと広く展開していくことを目的とした「海洋版デジタル田園都市国家構想」のモデル構築を図る。 ・「海洋イノベーションエコシステム」を創生し、人材・事業・資金の好循環を図る。 ・「海洋スタートアップの支援体制」を構築し、経済発展の牽引役となる海洋スタートアップの早急な創出を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人材・事業・資金の好循環による海洋イノベーションを促進し、新しいアイデアや技術が生まれ、成長するための環境や仕組みを構築する。また、「経済発展の牽引役となり、世界で戦える海洋スタートアップ企業」の早急な創出を促すための支援体制を構築する。 【主な経費】 「ブルーエコノミーEXPO」の開催による、スタートアップの集積、海外VCを含む国内外の投資家の参入を促進 ・イベントの開催・運営（推進主体への補助金）41,910千円 研究開発の促進、成果の社会実装の場としての拠点形成に資する「駿河湾実証フィールド」の整備、推進 ・研究開発体制を整備（推進主体への補助金）91,593千円 海洋スタートアップ企業の誘致・集積、創出・育成支援 ・「静岡県スタートアップ支援戦略」に基づき、海洋スタートアップ企業の誘致及び新規創出（推進主体への補助金）32,356千円 他		 「ブルーエコノミーEXPO」
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+130人） ②海洋スタートアップ創出・誘致数（+40社） ③スタートアップ等の招致件数（+300件） ④国外機関等との共同研究件数（+64件）		関連URL https://www.pref.shizuoka.jp/san-gyoshigoto/ki-gyoshien/shuseki/1040481/index.html

事業概要【静岡の地域資源を活かしたインバウンド推進事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	458,569千円（143,652千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で落ち込んだインバウンド需要の早期回復 ・本県の観光資源を活かした誘客事業、旅行商品を造成し、滞在日数長期化や旅行消費額拡大を図る ・本県の外国人観光客受入の玄関口となる富士山静岡空港の利活用促進		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○多様な地域資源を活用した観光コンテンツの造成・魅力発信 ・海外で人気なアニメ等の映像コンテンツを活用したプロモーションやイベント等の実施（委託料他）18,000千円 ・日本三霊山をテーマとした広域周遊の促進（負担金）3,000千円 ・食を活用した体験プログラム造成やイベント実施による誘客促進（委託料他）66,537千円 ・海外に向けた本県産日本酒の魅力発信（委託料）3,915千円 ○効果的なプロモーションの実施 ・海外OTAサイトでの本県特集ページ開設（委託料）15,000千円 ・欧米豪向け県内周遊コースの商品化・販売促進、マーケティング（補助金）28,500千円 ・富士山静岡空港を活用した魅力発信(委託料)8,700千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+3,664億円） ②訪日外国人平均宿泊日数（+0.6泊） ③アメリカ、イギリス、オーストラリアからの外国人宿泊者（+30千人） ④訪日外国人向け旅行商品造成件数（+36件）	関連URL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html



事業概要【外国人×障害者×女性 多様な人材活躍・育成事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	439,297千円（187,999千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	・外国人雇用を検討している県内企業を支援することにより、外国人材の活躍を通じた企業の新たな成長を支援する。 ・障害のある人の工賃向上及び就労訓練の機会を創出し、一般就労への移行につなげていく。 ・療育体制を確立し、全国初となるパイロットセンターとしてモデル事業を実施する。 ・女性特有の健康課題の啓発のため、フェムテックの県内企業への導入促進を図る。 ・ダイバーシティ経営企業表彰や専門家等の派遣により、県内企業におけるダイバーシティ経営の促進を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○外国人雇用に関する専門家・アドバイザーを企業に派遣（委託料2,299千円） ○障害における療育体制の整備、生産性の向上 ・療育センター開設準備、運営費（補助金160,000千円） ・障害福祉事業所の生産性向上のため、専門家による個別の伴走支援を実施（委託費、報償費：8,400千円） ○フェムテックの県内企業への導入促進により、女性特有の健康課題を啓発（委託料10,600千円） ○県内企業におけるダイバーシティ経営の促進 ・企業の多様な就労環境の整備（委託料3,700千円） ・ダイバーシティ経営の普及促進（委託料3,000千円）  		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①人口一人当たりの労働生産性（+696.11千円） ②海外高度人材活躍支援事業による内定者数（+165人） ③障害者雇用率の推移（+0.3%） ④フェムテックを取り入れた企業の割合（+98.8%）	関連URL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html

申請者	静岡県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	161,110千円（51,200千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	本県への来訪者数と滞在日数を伸ばし、旅行消費額を高めるために、以下の事業に取り組む ・プロスポーツチーム観戦と観光コンテンツの組み合わせによる周遊 ・大規模スポーツ大会の継続的な開催と長期滞在を見据えた合宿等のコンテンツづくり		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○プロスポーツチームと企業のマッチング ・観戦ビジネス拡大モデル事業（委託料）10,000千円 ○大規模スポーツ大会誘致補助金により誘客を推進（補助金）10,000千円 ○協賛スポンサーや集客が見込まれる大会をモデル的に開催（委託料）8,000千円 ○スポーツを活用した先進的なまちづくりの取組への助成制度創設 ・地域が自主的にスポーツを通じた誘客促進などの取組を行うことができる体制づくりを推進(補助金10,000千円) ○セミナーやモニターツアーの開催など、武道ツーリズムによる誘客、受入体制強化（委託料）4,000千円 ○スポーツ医科学を活かした合宿メニューの開発 ・自転車ハイパフォーマンスセンター（HPCJC）の自転車トレーニングによる心肺機能の向上等を他競技に転用するプログラム等合宿メニューの開発（委託料）9,200千円 ○企業とプロスポーツチームのマッチング  ○モデル大会を開催  ○武道ツーリズム（海外プロモーション）  ○スポーツを活用したまちづくり 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+1,872億円） ②県内延べ宿泊客数（+705.3万人） ③スポーツを通じた県内外の交流人口（+6,258,557人） ④プロチーム観戦者数（+391,000人） 関連URL https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html		

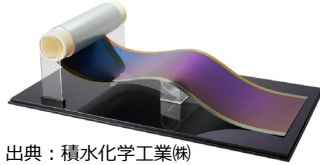
事業概要【儲かる農林水産業の実現による地域経済の活性化事業】

申請者	静岡県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	594,561千円 (183,935千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・生産性向上による本県の質の高い農林水産物の出荷量増加と、付加価値向上の取組を行うことで、「儲かる農林水産業」の実現による地域経済の活性化を目指すとともに、農林水産物が生み出される水陸の環境を保全することで、持続可能な農林水産業を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業】 ①稼ぐ力の向上に関する事業 ○しずおかアボカド産地化プロジェクト推進事業 ・栽培実証委託費 4,000千円 ②資源の保全と活用に関する事業 ○浜名湖アサリ資源回復実証プロジェクト事業費 ・人工稚貝の育成手法の開発と産卵促進（委託料）6,500千円 ③ブランディングと市場開拓に関する事業 ○県産品国内販路開拓支援事業 ・県産品ブランド化に関する経費（委託料・消耗品費）5,856千円 ○世界茶統一ブランド推進事業 ・静岡茶ブランド構築のためのプロジェクトチームによる戦略策定等（委託料）39,400千円						
地域の多様な 主体の参画	ワーキンググループの場を活用して大学と連携し、アボカドの栽培技術やブランド化に関する知見を取り入れながら、事業を推進する。 光技術を活用したアサリ人工種苗生産を実施し、企業等と連携した海上での育成手法の開発と産卵促進を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①静岡県の農業産出額（+155億円） ②県が販路開拓支援の取組を行った案件に参加した延べ事業者数（+16者） ③海面漁業・養殖業産出額（+2,277百万円） ④適切に管理された里山林面積（+56ha）

事業概要【「推し活」消費を中心とした誘客促進事業】

申請者	静岡県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	785,017千円 (233,229千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・本県は、世界遺産富士山、豊富な食材や多くの温泉地など多彩な観光資源を有しているが、平均宿泊日数や観光消費単価は全国に比べ伸び悩んでいる。 ・「推し活」の対象となる人気コンテンツと本県の誇る地域資源を組み合わせ、消費意欲の高い若年層などの観光需要を取り込み、平均宿泊日数と観光消費単価の向上を目指していく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業】 ○若年層の取り込みに関する事業 ・人気コンテンツ（アニメ、温泉・サウナ、ロケ等）を活用した誘客、スポーツ大会誘致事業（委託料、補助金等） 84,250千円 ○滞在時間の延長・消費拡大に関する事業 ・ナイトタイムコンテンツの造成、サブスクリプションサービスによる交流促進事業（負担金、需用費等） 30,100千円 ○2次交通の充実・周遊促進に関する事業 ・新幹線駅を起点としたモデルルート発信や駿河湾フェリーの活用（委託料） 20,000千円 ○誘客力強化に関する事業 ・地域の文化資源の磨き上げ・魅力発信、受入環境整備（委託料、需用費等） 98,879千円					 アニメ  ロケ  温泉・サウナ  スポーツ大会 <若年層の取込み（人気コンテンツ活用、スポーツ大会誘致）>	
地域の多様な 主体の参画	観光、文化、スポーツなど各分野の専門的知識を有する団体と連携して事業を実施し、地域資源と集客力のあるコンテンツを活用したイベント等の実施やモデルコースの発信による誘客促進を図る。 また、連携する団体との定例会等で、定期的に事業推進に関する効果検証や助言を受け、事業内容への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費単価（+0.4万円/人） ②平均宿泊日数（+0.45日） ③スポーツを通じた県内外の交流人口（+2,062,791人）

事業概要【次世代エアモビリティをはじめとする新たな産業活力の創出事業】

申請者	静岡県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,999,679千円 (633,527千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・県内市町や地域企業とスタートアップのマッチング及び連携促進により、新製品・新サービスの創出や県内に拠点を 持つスタートアップの増加を目指す。 ・県内大学等と連携し、企業のICT人材を育成するためのカリキュラムを提供することにより、ICT人材を確保して いる企業の増加を目指す。 ・プラットフォーム構築や水素関連技術開発に係る補助金等により、創エネ・蓄エネ開発に取り組む事業者の増を 目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○新たな産業活力の創出に関する事業 479,526千円 ・次世代エアモビリティビジネスマッチング ・県内で実施するスタートアップの実証実験支援 ほか ○ICT人材の確保・育成に関する事業 79,777千円 ・県内大学等と連携したICT人材育成カリキュラム提供 ・小中高校生を対象としたプログラミング講座 ほか ○グリーンシフトの推進に関する事業 74,224千円 ・ペロブスカイト太陽電池プラットフォーム構築 ・水素関連技術開発等への補助 ほか					 次世代エアモビリティ  スタートアップ  出典：積水化学工業(株) ペロブスカイト太陽電池  展示会出展	
地域の多様な 主体の参画	産官学金（※）の各分野の関係者と連携して新たな産業活力の創 出に向けて取組を推進する （※）市町、静岡県立大学、食品・ウェルネス等関連企業、銀行、商工 団体等					KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①県内スタートアップ数（+60社） ②先端産業創出プロジェクト等による事業化件数（+21件） ③先端産業創出プロジェクト等による試作開発支援件数（+40件） ④ICT人材を確保している企業の割合（+7.2%） ⑤創エネ・蓄エネの開発に取り組む事業者数（+75者）

事業概要【地元企業の活性化事業】

申請者	静岡県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	285,046千円 (88,682千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・市町や産業支援団体と連携を図り、地元企業への支援体制を強化し、DX（AI、IoT）やロボットといったデジタル技術の導入や事業承継による生産性の向上を支援し、所得向上を図る。 ・外国人材の活用や学生への支援による将来のものづくり人材の育成により、労働力不足の解消を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○中小企業へのDX（AI・IoT）やロボットの導入支援 ・アドバイザー派遣やH P 整備等（報償費等）20,764千円 ・中小企業DX支援実証調査（団体への補助）6,000千円 ・導入実証事業（企業への補助）5,000千円 ○事業承継・引継ぎ支援の体制強化 ・モデル事例創出、支援ニーズ掘り起し（委託料）8,000千円 ○学生への普及啓発 ・職業体験、出前講座の開催（委託料等）9,918千円 ○外国人材の活用等支援 ・体制構築（委託料）20,000千円 ・外国人材・企業とのマッチング支援（委託料等）19,000千円					 左 IoT技術実装講座  右 インド・グジャラート州との協定締結	
地域の多様な 主体の参画	中小企業のDXや人材確保を進めるため、産業支援団体と連携し、現場の課題に即した支援体制を構築する。 事業承継に関しては、市町や支援機関と連携し、相談窓口への導線強化を図る。 また、外国人材の受入促進に向け、県内企業の国際業務サポートにより蓄積された知見や海外ネットワークを有する金融機関から助言を得て、より実効性の高い事業運営に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県ICT人材を確保している企業の割合（+7.2%） ②事業承継診断実施件数（+18,750件） ③構築する中小企業DX支援パターン数（+9件） ④職業体験講座の受講者数（+3,750人） ⑤海外高度人材内定者数（+210人）

事業概要【魅力ある地域づくりによる人の流れの創出事業】

申請者	静岡県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	305,061千円 (88,293千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方の人への流れ分野
目的・効果	・首都圏の企業に対し、本県の魅力を発信する知事トップセールスを開催し、県外企業の誘致を強化する。 ・空き店舗などを活用して地域の課題解決につなげるリノベーションまちづくりの全県展開に向け地域の取組を支援する。 ・伊豆地域の「温泉旅館」内の遊休施設をスタートアップ企業等のオフィスとして、活用、入居を促進する。 ・移住関心層をターゲットとした情報発信や地域おこし協力隊の伴走支援により移住・定住の促進を図る。 ・公共ライドシェアを県内全域に積極的に展開していくことにより、交通空白の解消を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○企業立地促進事業 ・セミナー開催、営業ツール作成費等 17,500千円 ○しずおかリノベーションまちづくりプロジェクト推進事業 ・セミナー・交流会の開催、ウェブサイトの開設等 8,874千円 ・リノベーションスクール開講支援（補助金） 15,000千円 ・エリア価値向上支援（補助金） 15,000千円 ・メンター派遣による伴走支援等 2,341千円 ○伊豆ヘルスケア温泉イノベーション推進事業 ・オフィス化に向けた計画策定、入居促進等の伴走支援 10,000千円 ・アドバイザー派遣等による関係者の意識啓発 1,109千円 ・スタートアップ企業等と地域事業者とのマッチング支援 600千円 ○移住・定住促進事業、ターゲット層の拡大に関する事業 ・情報発信、地域おこし協力隊伴走支援(委託料) 5,895千円 ・多文化共生推進関連事業費 8,774千円 ○公共ライドシェア等導入支援事業 ・セミナー開催、アドバイザー派遣（報償、旅費） 3,200千円						
地域の多様な 主体の参画	関係市町のほか、まちづくり関係団体、宿泊施設、静岡県地域おこし協力隊ネットワーク、ライドシェア関係団体など、各種関係者と連携して、実践的な取組を進める。					KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI増加分の累計」の目標値	①県外からの移住者数（+450人） ②温泉旅館オフィス入居企業数（+10社） ③公共ライドシェア導入市町数（+8市町） ④県外企業の現地案内数（+6件）

事業概要【中小製造事業者「ヒトづくり」推進事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	48,770千円（30,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・本市の主要産業である製造業の更なる魅力向上・競争力強化を図るとともに、中小製造事業者のIT導入及び人材育成など、短期的・長期的両面から「ヒトづくり」事業を重点的に取り組むことで、労働力の「質」を高め、かつ「量」の確保につなげ、地域全体の活力を高める。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○民間団体によるオープンファクトリー事業に対する補助金 2,000千円 ○取り組むべきDXを明確にするための専門家による伴走型の支援の実施のための委託料 委託料26,000千円 ○市内事業者が本市指定の教育機関でリスクリングのための講座を受講した際の費用に対する補助金 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①生産年齢人口における本市製造業への就業率 (当該年度目標値+1%) ②オープンファクトリー事業への参加が自社にとってプラスになったと捉える市内中小製造事業者の割合 (当該年度目標値+95%) ③自社のDXに取り組む市内中小製造事業者の割合 (当該年度目標値+9%) ④人材育成に取り組む市内中小製造事業者の割合 (当該年度目標値+5%)	関連URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/750_000334.html

事業概要【スタートアップ協業促進事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	562,420千円 (202,770千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	- 市内経済にインパクトを与えるスタートアップの呼び込みや、スタートアップと市内企業との連携を促進することで、革新的な技術やアイデアで産業構造の転換や新たな社会の価値創出を図り、次代の経済成長を牽引する新産業創出やイノベーションの推進による企業の競争力の強化や持続的な成長・発展につなげ地域経済の活性化を目指す。 - これらを自律的・持続的に実現させるために、市内はもとより、県域や首都圏に広く存在する強みや成長資源を取り込み、スタートアップが静岡で活動しながら規模の拡大を伴う事業発展を行い、リソースの呼び込みと次の投資にまわる好循環を実現できる環境（イノベーション・エコシステム）の形成に取り組むことで、地域で稼ぐことができ、若者に魅力ある「しごと」を創出し、多様な人々の地域への流入を促し、市民等による活発な都市活動がなされる持続可能なまちづくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 スタートアップ等の有する行う革新的アイデアや技術を活用し、産業や地域における課題解決に向けた実証実験を民間企業や行政との共創により行う。また、学生向けのアントレプレナーシップ教育のための講座等の開催も実施する。 【主な経費】 市が抱える行政課題の解決をスタートアップとの共創で取り組む「知・地域共創コンテスト」の開催 ・知・地域共創コンテスト事業運営（委託料）45,000千円 ・コンテスト採択事業への実証事業支援（負担金）78,120千円 ・市内企業とスタートアップとの協業による新規事業創出等の支援 ・オープンイノベーションプログラム運営（委託料）25,000千円 ・新規事業創出に向けた実証に対する助成（補助金）25,000千円 ・学生向けのアントレプレナーシップ教育のための講座等の開催 ・講座・ワークショップ運営（委託料）8,000千円						
地域の多様な 主体の参画	静岡商工会議所、静岡ベンチャースタートアップ協会と共同でスタートアップとの協業・連携に取り組むとともに、市内企業との連携を促進する。 また、静岡県や金融機関と連携し、スタートアップに対する事業の周知やVCとのネットワーキングを図るほか、市内大学とも連携し、学生に対して施策の広報を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+1,196人） ②本事業を通じ創出された協業・共創プロジェクト数（+65件） ③働きやすいまちだと思ふ人の割合（+5.2%） ④スタートアップや起業に関心を持つ学生の割合（+3%）

事業概要【中心市街地活性化に向けた子どもの遊び場設置・運営事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	180,000千円 (60,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・子育て世帯のニーズを充足する魅力を創出し、中心市街地への来街を促す ・新たな民間投資を呼び込み、空き店舗の新たな活用を促す ・親子の来街をきっかけとした新たなにぎわいづくり、中心市街地の活性を図る						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	＜静岡地区中心市街地＞ ○実行委員会を立ち上げ、空き店舗を活用した子どもや子育て世帯向けの学びの場及び子どもの遊び場づくり。 ・子どもの遊び場設置・運営事業（負担金） 25,000千円 ○補助制度を創設し民間投資を誘導 ・子育て関連施設出店支援事業補助金 5,000千円 ＜清水地区中心市街地＞ ○実行委員会を立ち上げ、子育てイベントの実施や空き店舗を活用した子どもや子育て団体の活動の場づくり ・子どもの遊び場設置・運営事業（負担金） 30,000千円 ○子ども・子育て世帯を対象とした店舗の出店への補助制度 ・子育て関連施設出店支援事業補助金【再掲】 5,000千円					 空き店舗の遊び場イメージ  アーケード下の遊び場(イベント)  空き店舗活用(親子カフェ)  空き店舗の遊び場(イベント)	
地域の多様な 主体の参画	・商店街や自治会等で組織する実行委員会が、遊び場の設置・運営を、実施するほか、地域住民の意見の吸い上げや情報提供を行う。 ・子育て支援活動を行う市民団体等が、遊び場において、講座・イベントを実施する。 ・学識経験者（大学教授）を委員に含む中心市街地活性化協議会が、事業に対し、助言や情報提供を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①静岡市の総人口（▲6,941人） ②歩行者通行量（静岡地区）（+1,124人/日） ③歩行者通行量（清水地区）（+304人/日）

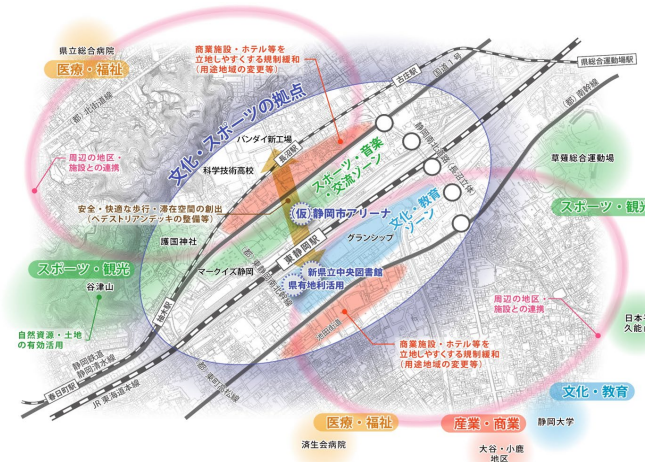
事業概要【インクルーシブ雇用による誰もが活躍できる都市の実現】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和6年度第1回募集						
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	150,780千円 (53,660千円)						
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	働き方改革分野						
目的・効果	・業務の切り出し方法等、企業へのコンサルティング支援や普及啓発を行い、就労希望者の受入れ拡大を図る。 ・デジタルツールを活用した就労希望者の能力・適性判断手法を確立し、就労準備の支援及びマッチングへの活用を図る。 ・就労希望者と企業のマッチングを支援し、多様な働き方による市内の活性化・市民の活躍推進を図る。												
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ①マッチング支援事業 企業へ訪問、コンサルティングを行い、本人の能力・適性にあった仕事・業務を創出しマッチング支援を行う。また、就労希望者本人向けの総合相談窓口を新規開設し、市（区）役所各窓口と連携した就労支援を進める。 ②就労アセスメントモデル事業 ケース会議や支援者の感覚・勘に頼った定性的評価ではなく、本人の生活面の能力及び就労面の能力を詳細に定量化・レーダーチャート化できるアセスメントツールにより、能力・適性に適合した仕事とのマッチングを図る。 【ソフト事業経費】 ①マッチング支援事業 <table><tr><td>○企業へコンサルティング等マッチング支援（委託料）</td><td>32,800千円</td></tr><tr><td>○総合相談窓口の運営（負担金）</td><td>13,500千円</td></tr><tr><td>○企業・本人支援（インセンティブ・表彰（認証））・ 新たな就労支援制度（PFS等）検討用費等</td><td>460千円</td></tr></table> ②就労アセスメントモデル事業（委託料） 6,900千円					○企業へコンサルティング等マッチング支援（委託料）	32,800千円	○総合相談窓口の運営（負担金）	13,500千円	○企業・本人支援（インセンティブ・表彰（認証））・ 新たな就労支援制度（PFS等）検討用費等	460千円		
○企業へコンサルティング等マッチング支援（委託料）	32,800千円												
○総合相談窓口の運営（負担金）	13,500千円												
○企業・本人支援（インセンティブ・表彰（認証））・ 新たな就労支援制度（PFS等）検討用費等	460千円												
地域の多様な 主体の参画	産業分野（商工会議所・農業団体・企業）とは、事業広報・協力企業開拓・求人情報提供で協力する。 学術分野（大学）とは、就職指導において、地元企業や地場産業に関する情報提供を充実させる。また、学識経験を有する教員から事業に係る専門的な指導・助言をいただく。 労働分野（シルバー人材センター）とは、特に高齢者就労の促進に係る事業について協働する。また、設置する総合相談窓口へ定期的に職員を派遣していただく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（一人当たりの労働生産性が向上した企業の割合）（+30%） ②企業の新規開拓数（+750社） ③普及イベント・連携会議等、参加者数（+1,280人） ④研修参加者数（+620人）						

事業概要【持続的な観光地域づくり・ブランディング推進事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	360,585千円 (153,688千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・本市ならではの観光コンテンツの造成支援を行い、観光消費額の向上及び市内滞在時間の向上を目指す。 ・ターゲットに向けたプロモーションと受入環境の整備を通じて、国内外の観光客の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 本市の地域資源を活かした観光コンテンツに向けて、意欲ある市内事業者の取組を支援する。 【ソフト事業経費】 （魅力づくり／体制づくり） ①SDGsのー美食・絶景・歴史ー感動体験のまち創造事業 ・コンテンツづくりのための伴走支援（委託料） 70,000千円 ②茶農家のインバウンド対応推進 ・茶畑ガイドシステム企画運営（負担金） 5,000千円 ・茶農家受入環境整備（補助金） 5,000千円 （情報発信） ③インバウンド向けプロモーション、商談会の参加 ・ロコミ拡大に向けたPR企画運営（委託料） 5,000千円 ・万博アニメツーリズムイベント出展（負担金等） 2,700千円 ④観光情報ウェブサイト改修事業（補助金） 13,500千円 ⑤VISIT JAPAN トラベル & MICEマート出店（負担金等） 198千円 （クルーズ客対応） ⑥清水港客船誘致委員会負担金（負担金） のうち、観光案内所等の運営強化分 36,790千円 ⑦商店街等のクルーズ客対応推進（委託料） 6,500千円 ⑧外国人材による地方創生事業（人件費） 9,000千円					   	
地域の多様な 主体の参画	地域連携DMOはもとより、市内事業者（旅行業者、茶業関係者、宿泊業者など）と連携して、観光消費の拡大に取り組む。 クルーズ客対応では、清水港客船誘致委員会をはじめ、清水港周辺の事業者や交通事業者などとの連携を強化しながら取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 +450億円 ②外国人延べ宿泊客数 +21万人泊 ③1人あたり観光消費額（日帰り）+3,500円 ④1人あたり観光消費額（宿泊）+7,000円 ⑤クルーズ客1人あたり観光消費額 +6,000円

事業概要【東静岡地区まちづくり推進事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,117,600千円 (57,600千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	東静岡地区は、静岡市都市計画マスタープランにて副都心地区として位置づけられ、今後、アリーナの整備や新県立中央図書館の移転が予定されていることから、民間投資の動向など、エリア全体のまちづくりを公民共創で進め、若者・子どもが未来に希望を持てるまちを実現する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ・具体的なエリアビジョンや、将来像の実現に向けたロードマップ等を作成し、官民連携まちづくりやまちのにぎわい創出の基礎とする。 ・アリーナ、図書館整備後に増加が想定される鉄道利用者の歩行者空間等を確保するため、調査や予備設計等を実施する。 【ソフト事業経費】 ○東静岡地区まちづくり基本計画策定等経費 27,140千円（委託料） 基本計画策定、用途地域等の都市計画変更検討、都市交通・次世代モビリティの調査検討 等 ○ペDESTリアンデッキ等調査経費 30,460千円（委託料） 予備設計、現地測量、地質調査 等						
地域の多様な 主体の参画	地元代表や鉄道管理者、国、警察などで組織する協議会において、公民共創のまちづくりを推進するにあたり、委員からの意見聴取を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①静岡市の人口減少数（▲40,061人） ②（仮称）静岡市アリーナの年間来場者数（+669.1千人） ③JR東静岡駅および静岡鉄道長沼駅の乗降客数（+986人） ④市民意識調査で「静岡市は活気があり、人を惹きつける魅力がある」と回答した市民の割合（+11.2%）

事業概要【デジタル技術を用いた地域の歴史資源（駿府城跡）の再現・活用促進事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	150,000千円 (80,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 本市の目指す歴史観光振興の拠点として駿府城跡天守台の野外展示をデジタル技術を用いて魅力あるコンテンツに育て上げる。これにより、観光消費額の向上及び市内滞在時間の延長、地域経済活性化とともにシチズンプライドの向上をも目指す。 - デジタル技術により制作するVR・ARは、観光に加えて教育、産業振興、人材育成にも活用していきたい。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 本市の地域資源である駿府城において実施された天守台の発掘調査の成果を活かしデジタル技術により、ありし日の駿府城天守等を再現し、歴史資源を活用した観光や子供たちの学びに有効利用するため高精細CGを作成する。CGを利用したVRを制作し、別途整備を進めているガイダンス施設内のシアターにて上映する。さらにARを制作し、駿府城公園及びその周辺エリアで実際の石垣などと一体で可視化し、歴史を切り口とした観光客の周遊に活用できる環境をと整える。 VR・AR制作（委託料）80,000千円					 	
地域の多様な 主体の参画	市内企業及び商工会議所によるVR等制作への協力、VR等を活用した観光事業の推進。地元大学等によるデジタルコンテンツ制作に際しての基礎情報の収集協力や技術的支援、地域おこし協力隊による歴史のまちづくり推進の立場から事業サポート体制の構築など。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+45,000百万円） ②観光消費額単価（日帰り客）（+257円） ③駿府城公園施設年間来場者数（+98,338人） ④駿府城公園施設来訪者の満足度（+8.52%） ⑤駿府城関連施設への再訪意向（+21.0%） ⑥歴史観光を目的とした来訪者率（10.5%）

事業概要【ガストロノミーツーリズム推進事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	54,310千円 (18,290千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	本市には、南アルプスから駿河湾までの標高差5,500mの自然の中で育まれた豊かな食材があるが、それを十分に生かし切れていない。来訪者がその背景にある歴史や食文化に触れながら、食の豊かさを未来に繋げていく“静岡市ならではのガストロノミーツーリズム”を推進し、食による地域での観光消費額の増加につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	「循環型」「持続可能」「再生可能」をテーマとした地域の食を取り巻く歴史や文化、環境を守りながら食の豊かさを未来に繋げていく『(仮)静岡市型循環・再生可能な食文化観光』を推進する。 【ソフト事業経費】 ○持続的な推進体制の構築 2,760千円 ・ガストロノミーツーリズム推進体制の構築、セミナー開催 ・ガストロノミーツーリズムアドバイザー招聘 ○食のブランドイメージの創出 6,000千円 ・(仮) 静岡市ベストレストランアワードの実施とSDGs認証の拡大 ○高付加価値な食体験コンテンツの造成 2,500千円 ・産地のくらし体験プログラム ○プロモーションと地産地消のサイクル 7,030千円 ・「和食展しずおか」関連誘客企画 ・新幹線しずおか朝どれエクスプレス ・大阪万博を契機としたガストロノミーコンテンツ開発と産地への誘客PR						
地域の多様な 主体の参画	市内事業者（生産者・飲食店・宿泊施設・旅行会社）と連携し地域資源を活かしたコンテンツ造成に取り組み、地域連携DMOとも共同した対外的なプロモーションを行うことで観光消費の拡大に取り組む。 関連イベントの開催にあたっては、市内大学や専門学校等とも共同して運営をサポート。事業への参画を通じて食文化を継承し取組を実践する担い手の育成につなげる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 1人あたり観光消費額における「飲食代」(+1,215円) ② 食を目的とする観光客の割合(+4.75%) ③ 飲食に2万円以上消費する人の割合(+2.5%) ④ 「ふじのくにSDGs認証」取得市内飲食店の数(+50店舗)

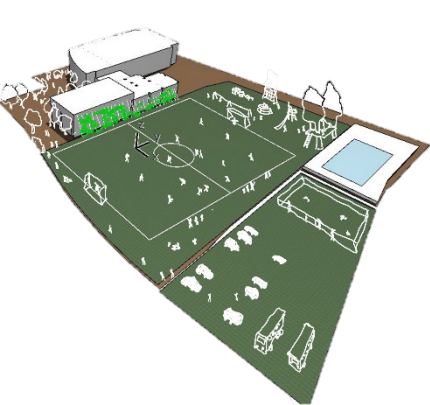
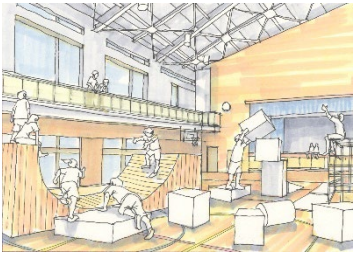
事業概要【物流における2024年問題の解決に向けた生産性向上支援事業】

申請者	静岡県静岡市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	278,400千円 (100,000千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・物流の2024年問題を背景に改正された法令で設けられた努力義務等に対応し、生産性の向上や事業の高度化に積極的に取り組む市内中小貨物運送事業者を支援することで、本市域内における物流の効率化を推進し、持続可能な物流を実現する。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ・生産性向上に取り組む意欲がある事業者に対し補助金を交付し、生産性向上を通じた経営の安定化を図る。 ・当該補助金の申請に向けた計画作成支援、取組に係る効果検証に対する助言、国・県等の支援策活用に向けた情報提供・相談等を併せて実施。 【主な経費】 ○物流効率化に向けた生産性向上支援 ・物流効率化等生産性向上支援事業（補助金）95,000千円 ・専門家による相談・制度活用促進（委託料）4,800千円 ○物流の2024年問題に対応する関係者ネットワークの構築 ・会議開催経費（報償費・費用弁償）200千円						 【物流効率化の事例】 「バラ積み・バラ降ろし」から「パレット利用」に変更し、荷役時間を短縮 出典：国土交通省資料を加工して作成	
地域の多様な 主体の参画	関係事業者でネットワークを構築し、生産性向上の取組を推進・効果検証することにより、サプライチェーン全体で物流効率化に取り組む。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（一人当たりの労働生産性が向上した企業の割合）（+270%） ②補助金を交付した事業者の件数（+150件） ③専門家による相談支援延べ件数（+450件）

事業概要【ローラースポーツパーク整備事業】

申請者	静岡県静岡市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	133,750千円 (133,750千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」の令和7年9月末の閉鎖に伴い、若者を中心に人気のローラースポーツを楽しむ機能を引き継ぐ恒久的な施設を整備することで、市民のローラースポーツをする機会の確保を図るとともに、初級～上級向けセクションを整備することで、練習等を目的とした市内外からの誘客を促進し、若者・親子連れが集まる施設として地域の活性化に繋げる。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【整備場所】 静岡市西ヶ谷総合運動場 第二駐車場の一部（2,000㎡） 【施設利用開始予定日】 令和7年9月末 【拠点整備事業経費】 新ローラースポーツパークに係る整備費用 ・路面整備 75,000千円 ・困障工事 7,000千円 ・照明工事 25,000千円 ・セクション整備 26,750千円						整備予定地周辺 位置図・写真 	
地域の多様な 主体の参画	市内大学と連携し、施設運営に関する専門的知見からの助言をいただき、PDCAサイクルによる業務改善を行っていく。 利用者同士のコミュニティの形成を図るとともに、利用者目線での施設の管理・運営についての意見に関して、市及び指定管理者が随時反映していく。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の交流人口数（+6,120人） ②本施設の利用者数（+8,160人） ③本施設の利用者数(市外在住)（+4,080人） ④市民意識調査において、「活気があり、人を惹きつける魅力があるまちだと感じるか」という設問に対する回答（+11.2%）

事業概要【旧清水西河内小学校を活用した交流拠点整備事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	345,334千円 (345,334千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 旧清水西河内小学校を改修し、地域の豊かな自然環境や観光資源を活かした交流拠点として整備することで、観光消費額の増加を図る。 - 森林資源を活用した木育プログラムや環境教育を実施し、自然と調和した暮らしの魅力を発信する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 廃校となった学校を地域の交流拠点施設として再整備する。地域に不足している宿泊機能を新たに整備するとともに、地域の森林資源を活用した木育プログラムや環境教育を実施する。また、今後開業を予定している中部横断自動車道スマートICを活かし、広域からの来訪者の誘致を目指す。 【拠点整備事業経費】 校舎・体育館等を改修し、宿泊機能や木育環境等を整備 ・施設整備等 120,305千円 （ドミトリー・個室の宿泊室、レンタルオフィス、大型木製遊具、飲食機能など） グラウンドに芝の少年用サッカーコートを整備 ・外構整備等 201,639千円					   施設整備イメージ	
地域の多様な 主体の参画	大学や自治会との連携により、地域資源や地域人材を発掘し、新たな体験アクティビティの開発に取り組むとともに、事業に関する結果数値等の分析を行い、事業改善を図る。 施設活用事業者と地域の近隣事業者との連携体制を構築することで、周辺の観光施設等と連動した取組を実施し、エリア全体の魅力向上を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本施設により発生する地域の観光消費額（+125,179千円） ②本施設の利用者数（+26,754人） ③近隣施設や地域住民等と連携した体験ツアーやプログラム等の造成数（+5件）

事業概要【誰一人取り残されないインクルーシブ社会実現プロジェクト】

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	69,953千円 (50,992千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	生涯活躍のまち分野
目的・効果	総活躍社会の醸成を図り、誰一人取り残さないインクルーシブな社会の実現を目指す。 ・外国人市民の活躍やジェンダー等による差別の解消を図る。 ・障がいをもった方々の社会参加促進を図る。 ・地域経済の循環促進と地域消費の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 多文化共生の推進や次代を担う児童生徒、その保護者やジェンダー差別を受ける方々の支援などの事業を実施し、誰一人取り残されない社会の構築を図る。 【ソフト事業経費】 ○外国人メンターによる就労・起業促進事業（委託料・謝礼）2,355千円 ○外国人留学生就職支援事業（委託料）4,809千円 ・外国人留学生等と市内企業のマッチングイベント開催 ・インターンシップイベントの開催等 ○インクルーシブスポーツフェスティバル開催事業（負担金）4,000千円 ・障がいの有無、性別や国籍を問わず誰もが参加できるインクルーシブスポーツ体験イベントの開催等 ○東京2025デフリンピック大会ブラジル選手団事前合宿受入事業（委託料）39,828千円						
地域の多様な 主体の参画	インクルーシブ社会の実現に向けて、民間事業者の専門的な知見を有効活用し、インクルーシブスポーツイベントに参画し参加者と一緒にインクルーシブスポーツ体験を実施する。 外国人留学生の就労・起業促進については、地域企業等で活躍する外国人メンターに協力いただき、外国人留学生に対し、浜松で働く魅力発信を担っていただく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①静岡県内での外国人留学生就職率（+3.6%） ②パラスポーツへの興味度（+3%） ③成人の週1回以上のスポーツ実施率（+15%）

事業概要【Local Coop構想を活用した共助による地域づくりプロジェクト】

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	46,200千円（19,800千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ
目的・効果	・税収に頼らず、住民が地域の中でともに助け合いながら豊かに生活できる仕組みを目指す。 ・地域内外の住民が、ともに助け合い地域を支える地域づくりを目指す。 ・中山間地域の持続可能な地域づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 Local Coop構想を具現化し、中山間地域の天竜区において、人口減少に対応した持続可能で住民同士が助け合い自らの地域をデザインする共助の新たな仕組みを構築する。 【ソフト事業経費】 ○Local Coop実装及びLocal Coopを活用した事業設計（委託料）14,608千円 水窪地域でLocal Coopを立ち上げ、住民主導でLocal Coopを軸とした新しいサービスの創出 ○空き家改修・維持に係る費用（委託料）5,192千円 ローカルコブ活動拠点の整備、関係人口の滞在拠点の整備						
地域の多様な 主体の参画	空き家対策や森林資源保護活動、特産品生産等を行う団体とともに水窪地域で実施可能な事業を協議し、事業の具体化に取り組む。 また地域住民で参画する自分ごと化会議を継続し、情報共有や地域で出来る事を検討する。地域や個人でも出来る事を考えてもらい、地域の事を自分ごととして捉える。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①住んでいる地域が住みやすいと思う人の割合（+25.7%） ②アナログ・デジタル両面においてプロジェクトに参加する人数（+185人） ③貸付事業を活用した起業件数（+9件）

事業概要【みんなで推進する中山間地域の振興プロジェクト】

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	31,330千円 (9,838千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 中山間地域の歴史や文化、景観等を保全することにより地域の魅力を高め、広く情報を発信することで、中山間地域に市内外から人を呼びこみ、賑わいを創出する。 - 中山間地域の魅力が高まることで、移住者の増加が見込まれるだけでなく、地域住民が誇りをもって生活できるようになる。 - 中山間地域の農林業等の産業振興を図ることで、住民が住み続けられる環境を整備する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 移住・定住の促進、中山間地域交流プロモーション、地域資源を強みにした誘客の促進など、みんなが「中山間地域は魅力的・大切な地域(浜松の宝)である。」と思える地域となるよう、様々な事業を展開する。 【ソフト事業経費】 ○ハマライフIJU・オン・デマンド事業（委託料）3,768千円 ○天竜区次世代アーティスト育成事業（委託料）908千円 ○中山間地域プロモーション映像制作事業（委託料）1,903千円 ○中山間地域の愛称・アイデア募集事業（報償費等）247千円 ○中山間地域・ミライカレッジ事業（消耗品費等）62千円 ○天竜区周遊マップ作成事業（委託料）385千円 ○天竜二俣駅前賑わい創出事業（負担金）1,765千円 ○天竜美林フィールドワーク開催事業（委託料）800千円						
地域の多様な 主体の参画	みんなが中山間地域振興の主体であることを認識し、積極的にまちづくりに関与していく。 また地域おこし協力隊とも連携し、中山間地域の魅力を発信を行うことで、地域住民では気づきにくい、地域外からの視点による魅力を発信する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市の事業を活用した中山間地域への移住者数（+115人） ②中山間地域の振興につながる事業提案・立案数（+3件） ③天竜二俣駅前のイベント来場者数（+4,300人）

事業概要【外国人材と共に世界の市場へ】

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	127,080千円 (42,360千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	インドをはじめとする意欲的な外国人労働者を受け入れることで、本市の企業における深刻な人手・人材不足を解消するとともに、イノベーション創出や世界市場への展開を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 人材交流や経済交流を目的に継続してインド現地の自治体や大学、企業等と連携を図るとともに、インド自治体関係者等の訪問受け入れや市長によるトップセールス等を実施 【ソフト事業経費】 ○インド政府機関等との交流 ・市長トップセールスにかかる旅費等 38,960千円 ○インドの大学と本市市内高校との連携事業 ・講師招へいにかかる経費（費用弁償） 400千円 ○インフルエンサーを活用した浜松の魅力・浜松ライフの情報発信 ・事業実施にかかる経費（負担金） 3,000千円						
地域の多様な 主体の参画	日本とインドの各機関同士の連携をきっかけに、両国の民間企業においても積極的な交流を行うことで、産業競争力の強化や海外市場展開などを推進する。 また、インド人に対して訴求力のあるインフルエンサーを活用して、本市の紹介動画を作成・発信することで高度人材やワーカー層に本市を知ってもらい、移住や就労に結び付ける。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人労働者数（+135人） ②外国人労働者の受け入れ企業数（+327社）

事業概要【スタートアップの創出と次代への承継】

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	180,000千円 (61,598千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・優れた技術や経営資源を持つ市内企業と革新的なアイデアを持つスタートアップのマッチング環境を整備することにより、地域産業が活性化され、新たなイノベーションが次々と生み出される都市を目指す。 ・第三者が事業を引き継ぎやすい環境を整え、起業家や創業希望者による事業承継につなげ、市内企業の事業存続及び持続的な発展を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 浜松市や市内企業がスタートアップと連携したいテーマを専用Webサイト上で募集し、スタートアップとのマッチング、伴走支援を行う。併せて市内企業とスタートアップの効果的なマッチングに向け、実態調査等を実施する。 【ソフト事業経費】 ○行政×スタートアップ、地域企業×スタートアップのマッチング環境の整備 ・委託料 38,701千円 ○スタートアップとの連携プロジェクトの支援 ・ソリューションの実証実験的導入支援、実証実験プロジェクト支援（伴走支援：無）（補助金）5,000千円 ・実証実験プロジェクト支援（伴走支援：有）（補助金）12,000千円 ○企業立地ニーズ調査事業 ・委託料 3,011千円 ○事業承継支援事業 ・委託料 2,241千円 ・郵便料 645千円					 地域企業・行政（浜松市）   スタートアップ	
地域の多様な 主体の参画	スタートアップ・エコシステム拠点の形成に向けて「浜松市スタートアップ戦略推進協議会」を設置し、産学官金の連携により、本市におけるスタートアップ・エコシステムの形成および振興を図る。 また各業界団体、税理士等と連携し、専門家による意見を活用するなど、事業承継支援を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内地域企業等と全国のスタートアップとのマッチング数（+60件） ②事業承継普及件数【2020～累計】（+900件）

事業概要【観光で稼ぐ！浜松推進プロジェクト】

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	254,464千円 (80,976千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・本地域でしか体験できない旅行商品を造成し、富裕層向けに誘客事業を実施することで、本地域への来訪と滞在期間延伸を促し、本地域の観光消費額の増大を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 本地域でしか体験できない旅行商品を造成し、富裕層向けに誘客事業等を実施する。 【ソフト事業経費】 ○高付加価値旅行者受入環境整備促進事業 ・負担金 6,675千円 ○歴史資源を活用したプロモーション ・委託料 3,788千円 ○海外向け戦略的広報事業 ・委託料 44,600千円 ○グローバル人材活用事業 ・委託料 7,974千円 ○首都圏魅力発信イベント開催事業 ・委託料 5,650千円 など						
地域の多様な 主体の参画	地域内の7つの観光協会や観光施設・宿泊施設のもつ専門的な知見を活用し、ツーリズムビューローが行うマーケティング調査の結果をもとに、観光協会・観光事業者が、既存顧客及び新規顧客取得に向けた方策の検討を行う。施設・宿泊施設等の観光事業者は、専門的なノウハウを活用し、施設運営を行うとともに、独自ルートで主体的な営業活動を実施する。方策の検討結果や営業活動を踏まえた意見を事業内容に反映する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①一人当たり旅行消費額（+7,065円） ②宿泊者数（外国人） （+307,518人） ③宿泊者数（日本人） （+681,443人）

事業概要【もうかる農林水産業の推進】

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	87,765千円 (41,327 千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・農山漁村の環境整備を進めるとともに、農林水産物の生産性向上から販売力強化まで、総合的に支援することで多様な担い手による持続可能な農林水産業構造の実現と、活力ある農山漁村振興を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 農林水産物の生産性向上から販売力強化まで総合的に支援を行う。併せて、農林水産業の担い手の確保と育成のための施策を行う。 【ソフト事業経費】 ○農業経営塾開催事業 講師謝礼 3,124千円、会場使用料 176千円 ○海外販路拡大事業 補助金 1,000千円 ○水産業持続化促進事業 委託料 4,697千円、負担金 3,400千円 ○天竜美林カーボンプレジット創出モデル事業 負担金 8,000千円 ○提案型畜産環境・衛生対策支援事業 補助金 4,000千円、講師謝礼 30千円 ○ICT活用捕獲活動支援事業 補助金 5,000千円 ○茶産地としての浜松市知名度向上事業 委託料 3,000千円 ○農業者団体の体制強化対策事業 委託料 8,900千円					 農業経営塾の様子	
地域の多様な 主体の参画	農林漁業者、商業・工業・観光業者など多様な事業者が取組の主体となり、事業間の連携事業の検討、補助対象事業の実施等を行う。 市は各事業の全体調整や協議会の事務局として、事業者への支援、助言等を行っていく。					KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①市内の1農家当たりの農業産出額 （+309千円） ②水産業協同組合の組合員当たりの年間取扱高 （+301千円） ③年間間伐実施面積 （+6,000ha）

事業概要【女性に選ばれるまちプロジェクト】

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	92,781千円（19,383千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	持続可能な都市経営を維持するために、若い女性の転出超過を抑制することを目的として、文系女子への就職等へのPRなどを通じて女性の雇用ニーズのミスマッチを解消するとともに、近年、女性の社会進出が進む中で、顕在化してきた問題の解決を図るため、女性の心情に寄り添った取組を実施することで、「女性にやさしい、暮らしやすいまち」を実現し、「女性に選ばれるまち」を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 女性に寄り添った取組により女性が住みたくするような環境を整備する。また「暮らし」と「仕事」はセットであることから、女性が活躍できる環境や働きやすい職場環境を整える。 【ソフト事業経費】 ○女性に向けた一元的な支援情報発信ポータルサイト構築事業 ・ポータルサイトの構築（委託料） 1,661千円 ○女性が安心して活躍できる環境づくり事業費補助事業 ・女性が安心して活躍できる環境整備（補助金）8,000千円、（印刷製本費・手数料）319千円 ○企業向け女性活躍推進セミナー事業 ・啓発セミナーの実施（委託料） 1,074千円 ○文系女子活躍促進事業（委託料） 3,163千円 ○はままつ子育て世代活躍企業コンテスト事業（委託料） 2,143千円 ○浜松市内女性就労実態調査事業（委託料） 3,023千円						
地域の多様な 主体の参画	地域事業者が女性活躍の取組を推進することで、表出する課題などを市と共有し、その後の取組に反映させる。 また、本市の学識経験者や教育関係者、自治会連合会等から就任いただいている男女共同参画審議会委員に政策等について審議・助言等をいただき、事業に反映させ、よりよい取組に昇華させる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①20歳から24歳までの若い女性の転出超過数（▲90人） ②女性のUIターン就職数（マッチングアドバイザーによる女性内定者数）（+22人） ③男女共同参画社会の実現に向けた取組の満足度（+8.7ポイント）

事業概要【複業人材を活用したDX推進による市内産業の魅力向上プロジェクト】旧制度（推進）

申請者	静岡県沼津市	初回採択回	令和5年度 第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	10,335千円（4,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・複業人材を活用し市内企業のDX等の推進を図る ・ICT企業等の誘致を図る ・ICT関連のスキルを有する人材の流出を防止する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○複業人材活用促進事業 複業人材による実践的な勉強会を実施し、企業内の中核人材の育成、企業の経営基盤強化につなげる。 ・複業人材活用促進事業（委託）2,500千円 ○IT企業誘致促進事業 本市の労働環境や移住環境等について体験してもらい、IT企業の誘致を図るため、体験型視察ツアーを実施する。 ・沼津市体験型視察ツアー（委託料）2,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じDXに取り組んだ市内企業数（+30社） ②沼津市体験型視察ツアーへの参加社数（+45社） ③本事業を通じて当市で拠点を開設した企業数（+9社） ④沼津市デジタル人事育成プログラムへの参加人数（+45人）	関連URL	https://www.city.numazu.shizuoka.jp/business/topics/2023/keieijuku_workshop/index.htm

事業概要【デジタルプラットフォームでつなぐまちづくりの担い手ネットワーキング事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県沼津市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	54,886千円（18,516千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	まちづくり分野
目的（効果）	・市内企業がまちづくりに携わることで、企業の価値向上とまち魅力増進を実現する。 ・労働者や学生を含む市民が、まちづくりに取り組みながら主体的に暮らすことでウェルビーイングを実現する。 ・市民や企業の多様な活動がまちづくりデジタルプラットフォーム上で可視化され、ネットワークが形成される。 これらの動きにより転出リスクを下げ、新たに人を呼び込み、地域の人口減少に歯止めをかける。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	◎企業版リノベーションスクールの実施を核としたオープンイノベーションへの取組及び情報発信（委託料8,515千円、需用費192千円、使用料99千円） ◎実行協議会に対する補助（補助金1,500千円） ◎まちづくりデジタルプラットフォーム導入のほか、まちづくりに参画する市民の裾野を広げ、ネットワーキングする（委託料8,210千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（▲3,900人） ②企業新規プロジェクト数（+25件） ③市民新規プロジェクト数（+30件） ④まちづくりデジタルプラットフォーム登録者数（+600人）	関連URL	http://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/machi/index.htm

事業概要【持続的ウェルビーイングが実現する熱海ふるさと創生事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県熱海市		初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	70,323千円（22,611千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・旧学校施設をハブ機能の拠点として活用し、まちづくり会社を中心に地域住民と域外の人的資源との連携を図る。 ・地域資源を活用した交流促進事業を展開し、移住定住の促進と交流人口・関係人口の増加を図る。 ・住民の豊かな暮らしを実現するため、地域の魅力を育み、人が集う地域を構築し、地域の活性化を図る。			
事業概要・ 主な経費	【オフィス事業】（委託料）4,724千円 旧学校施設の交流スペース、テナントオフィス及びコワーキングスペースを活用したビジネスマッチングと域内外の交流の場の提供 【地域資源を活用した交流促進事業】（委託料）9,637千円 ①地域資源を活用した体験イベント等の実施による域内外の交流事業の実施 ②自然を活用した体験プログラムを実施するインタープリターの養成 【エリアリノベーションまちづくり事業】（委託料）8,250千円 ①各地区で課題の整理を行い、地域の在り方を創造していくエリアリノベーションまちづくりを実践するエリアリノベーション会議を開催。 ②エリアリノベーションビジョンの策定		 【伊豆山地区】 土石流災害を受け、弱体化した地域力を再構築するため、地域の資源と人材を活用した産業振興を図るとともに、持続的な地域社会の構築を図る。 【中心市街地】 リノベーションまちづくりの推進エリアを拡張し、クリエイティブ人材の活躍の場を広げていく。 【南熱海地区】 産業、生活全般にわたり衰退の一途をたどる地区において、地区の市民活動等の拠点であった旧学校施設を活用し、他エリアからの人的資源等と連携し、地場産業の振興や雇用の創出、移住促進、空き物件の活用に取り組み、地区の持続的な活性化を図る。	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+14人） ②リノベーション事業から生まれた起業・創業者数（+7人） ③テナントオフィス稼働率（+75%） ④網代地区の空き物件が利活用された件数（+6件）		関連URL	調整中

事業概要【地域資源を活用したシティプロモーション推進事業】

申請者	静岡県三島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	30,000千円 (10,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・ロケ誘致や撮影支援を行う官民連携の受け入れ体制を整備し、市内ロケ件数の増加を図る。 ・映画・ドラマ等のファンの「聖地巡礼」による誘客を促進させ、市内観光消費額増額を図る。 ・本市ファンの増加を促進させ、ふるさと納税件数や移住相談を通じた移住者数の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○ロケツーリズムによるシティプロモーションの推進 ロケ誘致や撮影支援を行う官民連携の受け入れ体制の整備を行うための人材育成や、郷土愛醸成のための市民向けシンポジウム等を開催する。 ・外部専門家講演会・セミナー開催 1,800千円 ○積極的な情報発信・広報活動 映像制作者向けにロケ地検索サイトの掲載やロケハンツアーの実施、ロケ地マップの作成など積極的な情報発信・広報活動を行う。 ・情報発信。広告企画業務費用 3,000千円 ・市内外向けPRポスター・ロケ地マップの制作費用 5,200千円						
地域の多様な 主体の参画	官民連携のロケ受け入れ体制を構築し、それぞれが担う役割を全うすることで、受入れ環境を磨き上げる。 市や学校は、所有施設などの資産を積極的に提供し、観光協会や商工会議所は、ロケ候補地の情報提供や事業者との連絡調整を行う。 また、ロケ実績のPRを市やコミュニティFMが継続的に実施することで、地域住民や事業者の協力者増加を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内観光交流客数増加に伴う消費額 (+5,772百万円) ②ふるさと納税件数 (+4,500件) ③移住相談を通じた移住者数 (+75人) ④ロケ誘致件数 (+30件)

事業概要【眠れる労働力を発掘！富士宮プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	静岡県富士宮市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	38,520千円（17,220千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	・人口減少が避けられない中、眠れる労働力（育児休暇者、介護離職者、高齢者、外国人、引きこもり、生活困窮者など）が地域社会とつながり、その能力を発揮できる社会を構築する。多様な人材・働き手と企業・団体等の受け入れ側のミスマッチを解消し、働き手は「自由な時間にいつまでも働ける」状態、企業や団体等は、人手不足や担い手不足を補うことで、「誰一人取り残さない」市民全員が地域社会で活躍できている状態を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○中小企業人材確保事業 生産年齢人口の総数維持のため、デジタルを活用した各種サイトを立ち上げる。今まで情報が届かなかった若者などに情報発信。担い手を確保する。 ・事業承継支援ツール構築（委託料）1,520千円 サイト構築費・記事作成費等、事業者掘り起こしアンケート、追跡調査実施費 ・就業支援サイト構築（委託料）1,200千円 サイト構築、求人企業取材、動画作成、ジョブマッチング広告にかかる経費 ・採用力強化・機会創出支援事業（委託料）5,500千円 各種オンラインインターンシップ経費、セミナー・研修費用 市公式求人サイト 運営イメージ 地域内外の求職者 → 登録・求人検索 → 求人掲載 → 地域企業 運営主体：自治体 クレーム・問い合わせ受付 給与支払代行 システム提供 運営支援 レポート 初期費用 システム料 クレーム・問い合わせ受付 操作説明 運営事務局		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①求職者一人当たりの労働生産性・・・（+9,290円） ②福祉コーディネータが企業・団体とマッチングさせた人数・・・（+72人） ③市公式求人サイトにおける就業マッチング件数・・・（+2,820件） ④SDGsプラットフォームへ取組を掲載した企業・団体数・・・（+25者）		
関連URL	http://www.city.fujinomiya.lg.jp/sp/municipal_government/visuf8000001rq07.html http://www.city.fujinomiya.lg.jp/municipal_government/iiosmo0000001dop.html		

事業概要【若者のチャレンジを応援するまちづくりプロジェクト～スイーツのまちづくりに向けて～】

申請者	静岡県富士宮市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	31,100千円 (5,400千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- スイーツに関わる地域資源が豊富な富士宮市では、若者の創業や就職×スイーツの親和性が高く、市内スイーツ産業は関係人口創出のツールとするとともに地域の特産品を活かした新たなビジネスチャンスを提供できる分野でもある。地域を担う人材を呼び込むことに加え、地域人材の育成を図ることができればスイーツを切り口とした地方への人の流れを創出することが可能である。 - このプロジェクトでは、現在、富士宮市に存在する富士宮市ならではの地域資源（食材）をスイーツに特化し、地域資源と首都圏からスイーツに関わる人材をマッチングさせること、市内企業のブランディング力向上を図ること、若者の人材育成を図ること新たな菓子店舗の創業につなげ、地域経済の活性化及び地域の担い手確保を目的とする。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○関係団体交流事業 ・マッチング会等運営経費（委託料）：300千円 ○イベント開催による認知向上事業 ・イベント等出展事業（委託料）：1,100千円 ・ヒアリング調査：0千円 ※ふもとつばら（キャンプの聖地）において、来訪者に対してのヒアリング調査を実施。 ・市内スイーツ祭り事業（委託料）：2,200千円 ○シビックプライド醸成事業 ・キャリア教育経費（委託料）：400千円 ○スイーツのまちづくり発信事業 ・地元出身クリエイターによる魅力発信経費（委託料）：1,400千円					 地域特産品を使った商品	
地域の多様な 主体の参画	菓子工業組合や地元企業との協力により商品パッケージや店舗デザインなどブランディング力の向上を図る。 金融機関との連携により、資金調達や「ビジネスコネクトふじのみや」を活用した創業相談などを実施する。 報道機関の協力により広報活動を強化することやSNSチームと連携し、新商品のPR活動を展開し、シビックプライドを醸成する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①人口社会減の緩和（+60人） ②ふるさと納税返礼品（スイーツ）寄付額（+627万円） ③スイーツのまちづくり関係人口創出数（+900人） ④デジタルスタンプラリー登録者数（+550人）

事業概要【島田市ゆかりの著名人等による地域の魅力発信・愛着醸成事業】

申請者	静岡県島田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	37,977千円 (17,977千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 本市ゆかりの著名人が関わる文化芸術公演を実施することで、市外からの来訪者を獲得し内外に対し地域の認知度向上を図る。 - 著名人らを媒介として地域住民自身が地域の歴史・文化の魅力を認識し外部に発信できるような交流事業やワークショップを開催し、シビックプライドの醸成に繋げる。 - 地域の歴史・文化・人材を生かした事業を幅広い個人・団体を巻き込みながら展開し、人的ネットワークに裏付けされた活力ある地域の形成に寄与する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○「ショートフィルム」を中心とした映像文化の普及・啓発事業 事業費 11,470千円 ・島田市ふるさと大使らによるショートフィルムの上映会を行い普及啓発、市民にショートフィルムを用いた地域発信方法への理解・関心を深める。 ○島田市にゆかりある著名人等による文化公演の開催事業 事業費 6,507千円 ・落語、音楽、演劇等の文化公演を実施 ・実施を契機として当該著名人と地域との繋がりの新規構築						
地域の多様な 主体の参画	地元にて地域振興を行う企業には、まちづくりをプロデュースする主体としての専門分野を生かし、事業へ協力を求める。 高校は、事業への学生の参加及び、学校が持つ技術を生かした映像作成を依頼する。 地域在住芸術家等に、人脈や住民としての視点を生かして事業への参加を依頼する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①島田市への転入人口（+300人） ②島田市が好きな市民の割合（+1.89pt） ③島田市公式SNSフォロワー数（+4,800名） ④事業参加者へのアンケート結果のうち「大変よかった」と回答した人の割合（+15pt） ⑤島田市を知っていると答えた割合（+6pt）

事業概要【人が集まり、地域が繋がる自転車活用事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県富士市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	83,917千円（16,739千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	自転車による富士山の風景を楽しみながら移動できる体制の構築、プロサイクリングチームと連携した当市の特色を生かした誘客を進めるとともに、市民に対して自転車活用を推進することで、市外からの来訪者と市民が交流し、地域における様々なイベントや体験活動を通じて、人が集まり、地域で繋がり、地域経済にも寄与するまちづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 レンタサイクル事業の運営や安全で楽しめる観光ルートの設定、サイクルステーションを拠点としたサイクリストが集まる環境整備、サイクルツーリズムの推進など立ち寄り場所などの情報発信を行う。また、プロレースの開催、サイクルスポーツの体験など、様々なイベントを実施する。 【主な経費】 自転車活用による交通利便性の向上 ・レンタサイクル運営費 1,753千円 滞留型観光事業の創出 ・サイクルツーリズム推進事業費 5,749千円 ・サイクルステーション運営費用 2,237千円 サイクルスポーツを通じた認知度の向上 ・プロカテゴリーレースの開催負担金 5,000千円 ・観光資源活用サイクルイベントの開催 2,000千円		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①レンタサイクル使用した観光施設訪問人数（+1,476人） ②経済波及効果（+140,000千円） ③サイクリスト立ち寄り拠点整備事業所数（+170件） ④RESAS滞在人口の県外人口数(レース開催月)（+3,500人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://fuji-cycling.com/ （効果検証） https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kyouiku/c0508/rn2ola000003fp8n.html

事業概要【フィールドワーク等活性化事業】

申請者	静岡県富士市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	43,295千円 (14,095千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・大学生等によるフィールドワークを呼び込むことにより、若い世代の人口確保だけでなく、地元への優れた人材の輩出や、まちづくりをはじめとする様々な課題の解決を目指す。 ・市内でのフィールドワーク創出により、外部から大学生等を呼びこみ、知の集積を図る。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 市内でのフィールドワークや研究活動の実施に係る費用を補助するとともに、ゼミや学生からフィールドとして選ばれるための普及啓発事業を行う。また、大学生と地域企業等がビジネスプランを策定する取組を支援し、交流促進の機運醸成を図る。 【ソフト事業経費】 ○フィールドワーク普及啓発事業 ・モニターツアー実施、P R 動画作成（委託料）7,354千円 ○フィールドワーク・研究活動推進事業 ・フィールドワーク支援（補助金）1,500千円 ・地域課題解決調査研究（委託料）4,100千円 ・フィールドワークセンター運営（需用費）90千円 ○学生によるビジネスプラン作成支援・機運醸成事業 ・ビジネスプラン作成支援（委託料） 1,051千円							
地域の多様な 主体の参画	商工会議所・商工会が、産業界の意見集約により事業の改善等の提案を行うとともに、青年部メンバーが、「ふらりばサポーター」の一員となり共同で事業を実施する。 市内金融機関が、経営支援の知見を活かし、ビジネスプラン作成の支援やアドバイスの提供を行う。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①若者人口（+60人） ②フィールドワークセンター利用人数（+350人） ③フィールドワーク実施件数（+50件） ④フィールドワークを継続したい割合（+20%） ⑤ビジネスプランに取り組む大学生の数（+24人）

事業概要【田子の浦港にぎわい創出事業】

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	65,287千円 (16,387千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・田子の浦港のにぎわい拠点が集中するプロムナードエリアで、行政や港湾関係者、民間団体とともに、イベント等を開催することにより、交流機会の創出と自立的で持続可能なにぎわい拠点の形成を目指す。 ・プロムナードエリアと鉄道駅間でシャトルバスの運行やレンタサイクルスポットを設置することにより、プロムナードエリアへのアクセス向上と市内経済への波及を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 プロムナードエリアでイベント等を開催する民間団体等に対する補助や、エリアの活用推進のためイルミネーションを地元企業や民間団体等と協働で開催する。また、交通利便性向上のため、近隣鉄道駅からのシャトルバスの運行やレンタサイクルスポットを設置する。 【ソフト事業経費】 ○民間主体によるイベント創出 ・イベント等開催補助（補助金）2,400千円 ○田子の浦港プロムナードエリアの活用推進 ・エリア全体を彩るイルミネーション実施（委託料）9,000千円 ○観光拠点における交通連携ネットワークの創出 ・シャトルバスの運行、レンタサイクルスポットの設置（委託料）4,987千円						
地域の多様な 主体の参画	民間団体等が主体となったエリア周辺のイベント開催や店舗進出等を促すため、港湾管理者や商工会議所等と連携を進める。 学生や地元メディア、SNS等の情報発信者とともに効果的な広報啓発を行い、エリア全体の知名度の向上やにぎわいの創出を進める。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①プロムナードエリアのにぎわい創出事業（本事業）実施に伴う市内経済波及効果額（+258百万円） ②プロムナードエリアのイベント等の出店店舗数（+27店） ③プロムナードエリアの交流人口数（+90千人） ④シャトルバス・レンタサイクル等の利用者数（+5,100人）

事業概要【富士市版スタートアップ・エコシステム形成事業】

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	69,647千円 (14,247千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・イノベーションの創出を先導する富士市版スタートアップ・エコシステムを形成し、産学官金等の連携を推進して、企業の付加価値向上や競争力強化を図る。 ・若者の就労や外部人材・企業との共創を促進し、DX等のスキルを持った人材の育成と確保を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 市内外で富士市の産業や地域課題等を周知し、市内で活動するスタートアップの事業化・成長まで専門家のもと伴走支援するとともに、スタートアップと産官学金の支援者等が交流する場を設ける。また、こども向けにアントレプレナーシップ教育イベントを実施する。 【ソフト事業経費】 ○アントレプレナーシップ教育 ・小中学生向け起業イベント（委託料）0円（※R8年度から実施） ○コミュニティ形成支援 ・交流会の開催（委託料）200千円 ○アクセラレーションプログラムによる伴走支援 ・伴走支援事業費（委託料）12,305千円 ○市外スタートアップの呼び込み ・地域課題解決型ワークショップ（委託料）1,183千円 ・海外スタートアップ企業マッチング事業（委託料）559千円					＜富士市版スタートアップ・エコシステムの全体像＞	
地域の多様な 主体の参画	・商工団体とともに市内で活動するスタートアップの事業化・成長を後押しし、市内企業の声を事業内容に盛り込む。 ・県内大学と連携して地域課題解決型のワークショップを行うとともに、イベント等への大学生の参画を促進する。 ・金融機関と連携してアントレプレナーシップ教育を実施し、子供を育てる立場の目線で市内小中学校から事業に対する意見収集を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じて増加した地域の新規雇用者数（+8人） ②富士市版スタートアップ・エコシステム参加者数（+45者） ③市内で活動するスタートアップ数（市外からの誘致、起業等による新規活動）（+21件） ④新たに起業・創業を目指す人や新たな価値創出に関心を持つ人の数（+270人）

事業概要【工場夜景を活用した観光プロモーション及び誘客事業】

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	16,511千円 (8,324千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 市制施行60周年となる令和8年度に本市に全国工場夜景サミットの開催を誘致することで、本市の工場夜景をさらなる魅力ある観光コンテンツとして成熟させ、市内旅行消費額の増加を図る。 - 民間事業者等が主導する持続可能な事業スキームの構築を図るとともに、シビックプライドの醸成を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 令和8年度の市制施行60周年に合わせ、本市に全国工場夜景サミットを誘致し、戦略的に事業展開することで魅力ある観光コンテンツとして磨き上げ、定着を図る。 【ソフト事業経費】 ○工場夜景包括プロモーション事業 ・専用映像やウェブサイトの制作等（委託料）5,000千円 ○工場夜景見学・撮影ツアー事業 ・デジタルスタンプラリー（委託料）346千円 ・煙突ライトアップ（委託料）2,387千円 ・工場見学及び撮影ツアー（委託料）305千円 ○おもてなし人材育成事業 ・工場夜景ガイド養成講座（委託料）286千円						
地域の多様な 主体の参画	新たに「（仮称）富士市工場夜景推進会議」を設置し、工場や交通関連事業者、観光関連事業者、商工団体、行政等が協働する仕組みづくりを行う。 工場夜景をガイドできる人材を育成することを目的に、富士市観光ボランティアガイドの会の会員を対象に、工場夜景ガイド養成講座を実施する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①富士市における宿泊・飲食サービス業の売上額（+3,220百万円） ②工場夜景関連ツアーの催行回数（+30回） ③工場夜景事業への企業参画数（+6件） ④専用ウェブサイトの月平均閲覧数（+15,500回）

事業概要【スタートアップ支援事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	87,010千円（40,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・スタートアップと地元企業との融合を拡大・加速することにより、ビジネスモデルの変革や新規事業の立上げを通じた、強く持続的な産業の創出を図る。 ・スタートアップの集積や活動が活発化することにより、地域でも起業家に触れる機会が増え、就職だけでなく、起業・創業することも選択肢の一つであるという機運が醸成され、地域発のスタートアップが生成される土壌が実現する。 ・産業の担い手が持続的に再生産される構造を創出し、若年層の市外・県外への就職による人口流出の抑制と、市外・県外からの雇用の拡大につなげることで、『ひとと仕事が再生産される持続可能な地域経済の成長』を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【スタートアップマッチング等支援窓口の開設委託 2,500千円】 【起業創業等支援窓口委託 2,500千円】 【デジタルシフト実証実験補助 10,000千円（2,500千円×4件） ・補助対象者 DX促進モデル事業を実施する市内事業者 ・補助率 1/2 ・補助上限額 2,500千円 【大学生高校生でのスタートアップ創出に向けた支援委託 5,000千円】 【地方におけるスタートアップ創出の強化事業委託 5,000千円】 【スタートアップ拠点開設支援 5,000千円（2,500千円×2件）】 【焼津市トライアル優良商品認定事業委託 5,000千円】 【スタートアップ先進都市との連携業務委託 5,000千円】  ビジネスマッチングセミナー  スタートアップ現地視察		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①スタートアップの進出数（+20社） ②様々なプレーヤー間の共創による新規サービス創出件数（+15件） ③市内学生のうち、起業に関心を持っている人数（+15人）	関連URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/city-info/plan/category_city-info/mirai-soseisogo.html

事業概要【地域コミュニティによる地域課題解決支援事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	78,828千円（27,160千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・人口減少、高齢化、繋がりの希薄化などの課題を地域住民等と行政が共有し、新たな地域力のあるコミュニティ組織による地域運営を図る。 ・人生100年時代、生きがいを持って社会参加する活動ができ、誰もがいつまでも、住み慣れた地域で健康で心豊かな暮らしを送ることができる地域社会を目指す。 ・移住希望者が、安心して移住できるよう伴走型支援により、地域の新たな担い手として活躍できる環境構築を図る。		
事業概要・ 主な経費	【地域コミュニティ共創・生きがい創出事業】 ○地域において「共助」の意識醸成を図るための研修会を開催しチラシを作成 ・研修会（委託料）2,000千円 ・チラシ作成（委託料）500千円 ○相談窓口や問い合わせ等の事務補助及び事務費 ・事務補助（人件費）3,635千円 ・事務費（消耗品費）100千円 ○生きがいづくりの推進 ・スマイルライフ推進センターデジタル環境構築業務（委託料）5,695千円 ・ソフトウェア・セキュリティ対策ソフトライセンス料（使賃料）260千円 ・eスポーツ体験会（委託料）110千円 ・主催講座、講師育成講座（委託料）920千円 ・講師謝礼（報償費）20千円 ・スマホ相談員育成（委託料）190千円 ・スマホ相談員謝礼等（報償費）322千円 ・事務費（消耗品費）100千円 ・WEBやHP、チラシの媒体を活用した情報発信（委託料）1,805千円 ○スマイルライフ推進センターで活用するデジタル機器等の導入 ・デジタル機器購入費（備品費）2,719千円 ・市民サロン什器等購入費（備品費）994千円 【移住就業支援事業】 ○移住者等へのフォロー・移住体験・移住相談等の実施 ・事務補助（人件費）3,539千円 ・アドバイザー謝礼（報償費）100千円 ・お試し移住・プロモーション制作（委託料）4,151千円		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域運営組織を構築し、地域活動を始めた組織数（+3地域） ②焼津市民の健康寿命（平均自立期間）（男女平均+0.90年） ③地域コミュニティ組織に参画する個人、企業、NPO法人等の数（+90人） ④移住者及び二拠点居住者数（+34人・団体）		
	関連URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/city-info/plan/category_city-info/mirai-soseisogo.html	

事業概要【次世代につなぐ農業・地域サービス事業体の創出】

旧制度（推進）

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	65,200千円（25,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・担い手農業者が、まとまった規模の農地で、最先端のスマート技術も活用しながら高効率で儲かる農業に取り組むことができる環境を構築する ・農業・地域支援サービスの展開により、農業者の防除や草刈り作業など営農環境の整備にかかる負担を軽減させる		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【農業・地域支援サービス事業体経営発展支援事業】 （担い手への農地利用調整や農業所得向上に寄与する事業） ・運営費（補助金） 3,500千円 ・スマート農機管理・オペレーター育成（補助金） 1,000千円 ・農業で稼ぐマッチング支援事業（補助金） 2,000千円 【農地大区画化整備・ICT水利システム設置事業】 ・100a区画2か所（工事請負費） 11,000千円 【青年等就農者スマート農業展開支援事業】 ・導入費（補助金） 5,000千円 【スマート農業機械導入事業】 ・事業体による導入費（補助金） 3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①35歳未満の就農者数（+130人） ②担い手への農地集積（+135%） ③農家資格・農地所有適格法人以外の新規参入数（+9人・社） ④農業・地域支援サービス事業体の利用者数（+30人）	関連URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/city-info/plan/category_city-info/mirai-soseisogo.html

事業概要【焼津型エコシステム構築による関係人口の増大事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	97,643千円（40,087千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	焼津に関わる関係人口が拡大し、その関りが深化していくことで、地域経済の活性化や移住定住者の増加、さらには焼津がより魅力的なまちへと生まれ変わることにつながり、それがさらなる関係人口の増加につながるといった、これまでにない新しいシステム「焼津型エコシステム（地域経済循環システム）」の構築を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・「①データに基づくマーケティング」、「②地場産品の開発」、「③ファンクラブの構築」、「④移住イベント」といった取組を有機的に組み合わせ、焼津への関りを段階的に成長させることで、移住定住等に繋げていく。 ・また、その過程で、地域産品の販売等による地域経済の活性化を図るほか、ファンや移住者を積極的に巻き込むことで、人が人を呼び、人がまちを魅力的にし、それがまた新しい人を呼ぶ好循環をまきおこす。 【事業詳細】（R7事業費ベース） ①データに基づくマーケティング ○データ分析（1,114千円） ・ターゲット設定に向けたデータ分析やデータ活用人材の育成を行う ○地域ブランドの構築（10,118千円） ・キービジュアルやロゴを作成し情報発信等に活用する ②地場産品の開発（17,221千円） ・市内事業者が新商品の開発を行ったり、WEB物産展を開催する ③ファンクラブの構築（11,634千円） ・ファンクラブ制度を構築し関係性の強化を図る。 ・事業継続の牽引役となる活動の体制づくりを行う。 ④移住イベント（R8年度以降実施） 各分野における単体サービス利用者よりも、重複サービス利用者の方が、焼津市に対する興味・関心が高い。 ➡データ分析に基づくことで、興味・関心層（＝ファン潜在層）を把握し、アプローチを行っていく。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増（+810人） ②焼津ファンクラブ会員数（+6,000人） ③ふるさと納税寄附者数（+492,000人） ④ふるさと納税寄附金額（+7,837,000千円）		
関連URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/city-info/plan/category_city-info/mirai-soseisogo.html		

事業概要【多様な人財確保支援事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	50,545千円（21,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	・人財確保に悩む企業に現状と課題を認識し、人財確保のノウハウや方法の学びを通して企業の考え方や意識の改革を図る。 ・若者に限らず、外国人、高齢者、障害者、離職中の女性など多様な人財確保と多様な働き方のニーズに対応するため、福利厚生制度の見直しといったソフト面と設備改修のハード整備に係る支援を一体的に実施する。 ・子ども達を対象に、働くことの楽しさや成功体験を通じ、地域愛を育み、将来的に地元で就職・定住・活躍してもらう人財育成と確保を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	●市内企業向けの雇用促進セミナー・勉強会の開催（500千円） ・民間事業者への委託料、事業PRの需用費 ●DX推進アドバイザー派遣（1,000千円） ・民間事業者への委託料 ●市内企業の魅力を知ってもらう職業体験事業（15,000千円） ・委託料 ●多様な人財雇用促進事業補助金制度（5,000千円） ・ソフト事業に係る経費の一部を補助金として支援 ・働き方改革推進モデルとなるような「えるぼし」等の認定を受けた企業の取組みの経費の一部を支援	 企業向け雇用促進セミナー  保護者向け 市内企業訪問バスツアー	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+30万円） ②市内企業において新たに雇用した人数（+35人） ③雇用促進セミナー及び勉強会参加者数（+60人） ④国の法令に基づき、働きやすい職場と新たに認定された市内企業数（+3件）	関連URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/city-info/plan/category_city-info/mirai-soseisogo.html

事業概要【地域で取り組む健幸デジタル生活推進事業】

申請者	静岡県焼津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	110,674千円 (35,938千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・地域でデジタル技術を活用した健康づくりや生きがいづくりを推進し、健康寿命の延伸や医療費削減を実現することで、持続可能で活力ある地域社会を形成し、市民の幸福度を向上させる。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 ・健康管理アプリを導入する。アプリで取得できるデータを活用し、生活習慣病の重症化予防や妊産婦などの個別支援が必要な人に、オンラインで保健指導、健康相談を行う。 ・健康管理アプリを活用し、健康意識を高め、生きがいづくりを促進する。健康マイレージ事業のデジタル化や、地域事業者と協力した体験型健康増進コンテンツの提供、生きがい活動参加者へのポイント付与を通じ、地域とつながる参加型の仕組みを構築する。 ・地域拠点にデジタル活用支援員を配置し、デジタル技術を身近に活用できる環境を整備する。 【ソフト事業経費】 ・保健指導、健康相談等委託：4,488千円 ・アプリ管理運営委託：1,650千円 ・体験型健康増進コンテンツ委託：3,696千円 ・事業者調整、デジタル健康マイレージ運用委託：6,600千円 ・認証アプリ連携等委託：6,380千円 ・支援員委託：3,554千円 ・広報委託：2,970千円 ほか					健康寿命延伸を目指した活力ある持続可能な地域づくりで 市民の幸福度向上！ 健康・生きがいづくり デジタル生活 生活習慣病予防 妊産婦サポート 地域とつながる デジタル活用支援 地域で取り組む健幸・デジタル生活推進事業 オンライン保健指導 オンライン健康相談 アプリで 妊産婦支援 デジタル版 健康マイレージ 生きがいづくりで 健康ポイント付与 地域事業者と連携 した健康事業 地域にデジタル活用 支援員配置 焼津市スマートシティ推進協議会 官民連携で、デジタルを活用した地域課題解決に分野横断的に取り組む！	
地域の多様な主体の参画	地域産業団体、小売店、市内外の事業者、金融機関、福祉団体などと連携し、健康管理アプリの普及等を通じて地域における健康、生きがいづくりの促進を図る。各主体は、それぞれの強みを生かして事業に参画する。意見や提案は、焼津市スマートシティ推進協議会の枠組みで共有・協議され、事業の改善や展開に反映する。市は全体調整を行い、官民連携による持続可能な仕組みの構築を目指す。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①健康な状態で過ごしている人の割合（減少率改善：+0.03ポイント） ②生活習慣病重症化予防効果（医療費抑制：▲0.40ポイント） ③デジタル生活因子平均値（+0.18ポイント） ④健康管理アプリ利用者数（+13,000人）

事業概要【全市生涯学習学びのキャンパス化事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県掛川市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	26,900千円（11,191千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・掛川学びの場所100景を選定し、地域の新たな魅力づくり、磨き上げを図る。 ・地域で活躍できる人材の育成を図る。 ・学びの場の活用、地域課題の解決を目的に生涯学習の視点で考える場「(仮)未来探求学舎」の創設、開催。 ・スモールモビリティを活用した学びと観光のネットワーク化及び学び塾の開催。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域の魅力を伝える掛川学びの場所100景の情報発信とスモールモビリティレンタル事業の活用により、学びの場のネットワーク化を図る。また、学びの場を巡る「学び塾」や、「(仮)未来探求学舎」で学びを深め、生涯学習まちづくりを実践する。 【主な経費】 ○学びの場の情報更新及び活用方法の検討・実践 ・「掛川100景」デジタルアーカイブ管理・更新委託料 473千円 ○スモールモビリティを活用した学びの場のネットワーク化 ・スモールモビリティ導入・運営業務委託料 10,000千円 ○(仮)未来探求学舎での生涯学習まちづくりの推進 ・学びの場を巡る「学び塾」の開催 203千円 ・生涯学習を通したまちづくりのプラットフォームの運営 515千円 ※経費内訳はR7年度事業費		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①掛川市の人口（▲240人） ②掛川学びの場の設定数（+120箇所） ③学び塾に参加した人数の推移（+120人） ④電動キックボード利用者数の推移（+2,000人）		
関連URL	（交付金の具体的な使途・実施体制） https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/734843.html （検証結果） https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/9312.html		

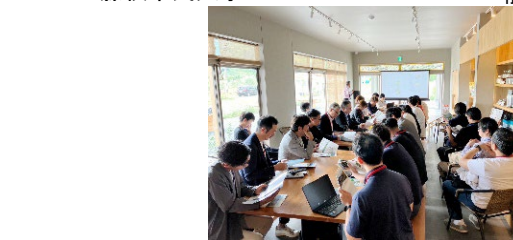
全市生涯学習学びのキャンパス化の実現と展望



事業概要【(大学とのまちづくり2.0)持続可能な地域を拓く人づくり推進事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県藤枝市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	96,745千円（32,513千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	学生の地元企業への就職率の低下、進学時の県外への大幅な流出などの課題への対応と、アフターコロナにおけるDX等を含めた市内企業の革新とこれを担う人材確保を図るため、これまで培ってきた4K施策やコンパクト＋ネットワークのまちづくり、ICT活用などの強みを活かし、産学官でイノベーションの創出と高度人材育成、女性活躍を一体的に進める。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	□「いつからでも学び、チャレンジできるまち」に向け、地域社会・地域経済を担う「人づくり」を進めるため、大学と連携し、多様な学びの機会を提供する。（委託：10,413千円） □連携大学の専門分野から多様な学びを提供するプログラム「未来学」を実施し、多様な学びの提供と学生相互の交流を図ることで、将来の地域を担う人材づくりを推進する。（委託：2,500千円） □地域経済の活性化や持続的な発展及び市内中小企業のさらなる成長を促進するため、本市及び首都圏企業等有するビジネス資源を活用し、自らの事業の創出・発展・拡大に取り組む企業や創業者等のスタートアップの支援を実施する。（委託：5,200千円）	 藤枝市民大学	 静岡中部「未来学」
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内企業と首都圏企業のビジネスマッチング件数（+5件） ②学習歴のデジタル証明発行件数（+675件） ③スタートアップ創業数（+9社） ④藤枝型インターンシップ導入企業数（+22社）	関連URL	https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/kikakuzaisei/kikakukei/gyomu/1/gyouseisabisu/1530499507804.html



フジエダ未来共創会議

事業概要【 “食と農×健康・医療”で創る新地域成長戦略】

旧制度（推進）

申請者	静岡県藤枝市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	223,787千円（90,287千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	本市の強みであり、世界的な成長分野でもある、“食と農×健康・医療”を基軸とした新たな基幹産業・ビジネスを創出するとともに、産業クラスターを形成し、独自の商品やサービスを生み出し、新たな市場を開拓することで、地域産業の高付加価値化、高度人材の集積、関係・交流人口の拡大、所得水準の向上へ拡充し、さらに、出生数の向上と健康寿命の延伸の達成へとつないでいく。		
事業概要・ 主な経費	特徴的な “食と農” 世界の食料品市場 (2030年)約1,360兆円に拡大 (2015年の1.5倍) 先進的な “健康・医療” 世界のヘルスケア市場 (2030年)約525兆円に拡大 (2013年の3.2倍) “食と農×健康・医療”で創る新地域成長戦略 「2つの強み」を結び付け 新たな産業・市場を開拓		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+35人） ②働き世代の転入者数（+140人） ③先導的ビジネス取組件数（+8件） ④食と農アンテナエリア内農業法人等誘致件数（+3件）		
	関連URL	https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/kikakuzaisei/kikakukei/gyomu/1/gyouseisabisu/1530499507804.html	

事業概要【地域とアーティストでつくる“ふじえだ陶芸村”構想】

申請者	静岡県藤枝市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	147,640千円 (107,640千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・陶芸やアートを活用した地域づくりの拠点施設を整備し、観光客や交流人口・関係人口を拡大させることで、中山間地域における新たな仕事の創出や地域経済の活性化を図る。 ・アート分野の有識者や芸術系大学等と連携し、若手アーティストの移住促進に資する施策の研究・試行に取り組み、「新たな創作の地」としての地域ブランド確立に向けた基盤を形成する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○事業推進アドバイザー ・アドバイザー委嘱 1,000千円 ○芸術系大学等との共同研究事業 ・業務委託料 4,000千円 ○取組の発信・PR事業 ・アーティストの滞在制作活動 3,000千円 ・広告物の制作 1,000千円 【拠点整備事業経費】 ○陶芸やアートを活用した地域づくりの拠点施設の整備 ・用地造成 74,478千円 ・設備整備 16,249千円 ・備品購入 7,913千円						
地域の多様な 主体の参画	拠点施設の指定管理者、自治会、地域在住のアーティスト、芸術系大学、地域活動に取り組むNPO法人、地域おこし協力隊等と連携して「新たな創作の地」づくりの取組を推進し、拠点施設の企画・サービスへの反映や、協働によるイベントの開催等に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①中山間地域内の交流人口 (+157,000人) ②中山間地域への市外からの移住者数 (+33人) ③陶芸村拠点施設の利用者数 (+145,000人) ④中山間地域で活動する芸術家数 (+6人)

事業概要【富士山 木のおもちゃ美術館を観光拠点とした地域活性化事業】

申請者	静岡県御殿場市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	963,017千円 (963,017千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・滞在・滞留を促す新たな観光拠点として、来訪者が御殿場の自然や文化を体感し学び、高付加価値な体験ができる「富士山 木のおもちゃ美術館」を整備し、観光交流客の市内回遊を促し、滞在時間増を進めることにより、市内における旅行消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	■ 事業概要 御殿場産木材「ごてんばっ木(こ)」をふんだんに活用し、多彩な木の玩具の遊びや御殿場ならではの体験ができる屋内あそび場として、富士山の自然豊かな恵みと御殿場の自然・文化・魅力を体感できる新たな観光拠点「富士山 木のおもちゃ美術館」を整備する。 ■ 主な経費 ○富士山 木のおもちゃ美術館 ・施設整備 963,017千円					 	
地域の多様な 主体の参画	NPO法人や木育活動市民団体等と連携した施設運営により、ホスピタリティの要となる運営ボランティア(おもちゃ学芸員)の継続的な参画に繋げ、市内外からの利用者満足度向上や再来訪を促す。 市内高校や特別支援学校と連携し、施設運営に携わる他、高校生らの活動展示や体験受入等、高校生らと共同した施設活用を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内における旅行消費額 (+212億円) ②施設の入館者数 (+10万人) ③市内観光交流客数 (+15万人) ④一人あたりの旅行消費額 (+7,500円) ④市内宿泊者数 (+5万人)

事業概要【(仮)御殿場駅サイクリングゲートウェイ整備事業】

申請者	静岡県御殿場市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	5,318千円
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 御殿場駅乙女口御殿場市観光協会敷地内にサイクルツーリズムの拠点となるサイクリングゲートウェイを設置し、走行空間と併せて受入環境を整えることにより周辺地域に国内外のサイクリストを呼び込む。 - ゲートウェイでの積極的な情報発信を行い、市内周遊を促進することにより市内滞在時間及び観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 御殿場駅乙女口御殿場市観光協会敷地内に富士山一周サイクリングや周辺地域のサイクリングコースへ出発する際の拠点となる施設を整備する。観光協会と併設されることにより、サイクリングだけでなく市内観光情報や観光体験商品の情報も同時に入手できるようになり、市内周遊や市内滞在時間の増加も見込まれる。 【拠点整備事業経費】 御殿場市観光協会敷地内にサイクリングゲートウェイを整備 - 施設整備 4,840千円 - 建物内設備 478千円					 	
地域の多様な 主体の参画	地元の観光事業者、サイクリングチーム、サイクルショップ、イベント事業者、高校、市等の産官学で構成される協議会にてゲートウェイの活用方法等について検討を行い観光協会を通じて事業に反映していく。 また、年度末に利用者数や利用状況、実施事業の報告会を行い、次年度の事業への反映をする。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内の旅行消費額 (+212.54億円) ②市内の観光交流客数 (+15万人) ③ゲートウェイ利用者数 (+4,000人) ④レンタサイクル利用者数 (+400人)

事業概要【“ふくろい版”共創のまちづくり推進事業 ～地域DXを見据えた新たな自治体経営への挑戦～】

申請者	静岡県袋井市					初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	108,646千円 (44,040千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・人口減少が進み公助の縮小が避けられない中で、新たなまちの経営戦略（抑制戦略と適応戦略の同時展開）として、行政と共に市民や事業者が互いに望むまちを共助で実現する「共創のまちづくり」を目指すもの。 ・市の公的な信用の下、市民のニーズが重複する地域の拠点や機会を接点に、地域の共領域を拡大させ、袋井ならではの豊かさや暮らし良さを地域住民が自ら創り出していくことが出来る“まちの仕組み”づくりを図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業】 官民共創の定常化、一般化、自律化に向けた仕組みづくりを目指し、運営体制やルール作りのための実践的な実証実験に取り組むとともに、共創の取組の普及・人材育成を推進するほか、デジタル技術を用いた地域のニーズ把握や繋がりづくりも併せて試行していく。 ○官民共創の定常化、一般化、自律化に向けた仕組みづくり ・官民共創の仕組み確立(委託料)20,000千円 ・地域の拠点を接点としたお試し事業(委託料ほか)17,020千円 ○官民共創のまちづくり推進のための人づくり ・人づくりに向けた研修会・講座の実施（委託料ほか）5,465千円 ・スタートアップ企業との勉強会・交流会（使用料ほか）1,555千円					 （官民共創ワーキングの様子）	
地域の多様な 主体の参画	官民共創の在り方検討や事業推進などしていくため、地域コミュニティや市民団体、地元企業・金融機関、学校法人など多様な主体が参画する「官民共創ワーキング」の開催するとともに、行政の事業を接点として、多様な主体がお互いのリソースと掛け合わせて一緒にできることを考え、新しい価値を創出する取り組みを推進する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域への転入超過数（+300人） ②官民共創の推進体制「ワーキンググループ」への参加者数（+150人） ③官民共創の推進体制「官民共創ネットワーク」への登録者数（+300人） ④官民共創の取組参加者の暮らしの満足度（+86%）

事業概要【地方発新産業の創出と若者が地方で挑戦・活躍できる環境の創出】

申請者	静岡県袋井市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	89,003千円 (19,403千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	「若者や女性に選ばれるまち」として、若者や女性が出会いや気づきにより「楽しい」と思えるような環境や、市で「チャレンジしたい」と思われるようなエコシステムの構築により、新たな人の流れをつくり、関係人口の増加に取り組む。 「起業しやすいまち」として、若者や女性をはじめ、起業を志す方と、首都圏のスタートアップや市内外の成長を志す事業者等との交流機会を促進し、新たなネットワークの構築により、起業しやすい環境の整備に取り組む。 「都市と地方がともに成長する地方創生2.0モデル地域」として、市内大学と連携し、新結合を通じた新産業へのイノベーションを生み出し、首都圏をはじめ、他地域のエコシステムとつながり、都市と地方がともに成長するモデルの創出に取り組む。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○地方発新産業の創出に関する事業 ・「エコシステム創出拠点」の運営に関する経費 6,000千円 ・地域企業と大学との共同研究開発に関する経費 3,000千円 ・スタートアップ支援（創出・連携）に関する経費 2,200千円 ・市内中小企業のデジタル化を推進する経費 1,500千円 ・創業希望者や創業間もない方を支援する経費 1,800千円 ・(仮称)袋井市産業振興ビジョン作成に係る経費 2,761千円 ○若者が地方で挑戦・活躍できる環境の創出に関する事業 ・市内企業の就労支援サイトの運営に関する事業 1,600千円 ・子どもたちの職業観を高めるキャリア教育に係る事業 542千円					多様な主体が集い繋がる 「エコシステム創出拠点」  ・ピッチイベント ・交流会、セミナー等 ・創業支援 ・ビジコン・伴走支援 ・デジタル化推進 ・SUとの交流 ほか オープンイノベーションの推進	
地域の多様な 主体の参画	市と静岡理工科大学に加え、商工団体と金融機関が連携し設置する「ふくろい産業イノベーションセンター」がコーディネータとなり、企業の課題解決支援や共同研究の促進などにより、企業の成長支援に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①製造品出荷額等（+227.02億円） ②静岡理工科大学と市内企業の共同研究件数（+12件） ③市・商工団体・金融機関の支援による創業件数（+81件） ④市内高校・大学の就業率（+0.00%）

事業概要【袋井NEXTツーリズム2.0プロジェクト】

申請者	静岡県袋井市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	43,580千円 (9,860千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 市総合計画(R3～7)及び市観光基本計画(R3～7)で目標としている年間観光交流客数500万人の達成を目指し、主要観光コンテンツのさらなる発信や新たな観光コンテンツの開発、効果的なセールスにより新規の観光客の開拓を図る。 - 市観光基本計画で目標としている土産物・買い物・飲食代の日帰り観光客一人あたりの旅行消費額単価5,600円の達成を目指し、観光客の市街地への周遊を促し、市内での買い物や食事を促進させることで、旅行消費の増加につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【新たな観光客開拓と高付加価値化への取り組み】 ○ふくろい観光ルネッサンス事業：9,360千円 ・新たな手法による情報発信：700千円 ・ふくろい夜宵プロジェクトのさらなる展開：5,278千円 ・観光の高付加価値化へ向けた新コンテンツの開発：1,980千円 ・既存の取り組みのさらなる展開：1,402千円 【域経済活性化の取り組み】 ○デジタルスタンプラリー事業 ・デジタルスタンプラリー事業委託料：500千円					袋井NEXTツーリズム2.0 ～次世代ツーリズムへの挑戦～  【サイクルツーリズム】 【アグリツーリズム】	
地域の多様な 主体の参画	市と市観光協会その他、商工団体である袋井商工会議所や浅羽町商工会、金融機関等が連携し、それぞれの専門性を活かした事業の効果拡大を目指す。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光交流客数（+3万人） ②本市を訪れた観光客の旅行消費額調査（観光地での直接ヒアリング方式）（+300円） ③ホームページ及びSNSへのアクセス件数（+3万件）

事業概要【大河ドラマを契機とした観光振興及び郷土愛醸成促進事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県牧之原市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	28,200千円（3,600千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・従来からの誘客資源である食やマリンレジャーに加え、「歴史・文化資源」を新たな地域資源の柱として当市への観光誘客の多様性を図り、交流客数、消費単価の増加につなげる。 ・郷土の偉人「田沼意次侯」の大河ドラマ登場により、全国的な注目度や関心が高まるこの機会に、他の自治体にはない、当市独自の歴史・文化資源を情報発信し、他地域との差別化を図り、観光誘客につなげる。 ・大河ドラマを契機に、より一層「田沼意次侯」の功績顕彰につなげ、ゆかりの地に住む市民の郷土愛醸成を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○田沼意次侯ゆかりの地PR事業 ・専用ホームページの運営（委託料）500千円 ・NHK相互協力印刷物の制作（委託料）2,400千円 ○デジタル技術を活用した市内周遊促進 ・周遊アプリの運用（委託料）500千円 ○歴史・文化資源を活かした商品開発支援事業 ・開発商品の冊子またはパンフレット制作（委託料）200千円		 相良城址石碑と田沼意次銅像
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+20億円） ②専用ホームページの閲覧数（+25,000人） ③市史料館の入館者数（+35,000人） ④歴史文化に関連した商品開発数（+20件）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年9月公表予定 （効果検証） 令和7年9月公表予定

事業概要【廃校を利用した地方創生施設の宿泊、交流機能の拡充事業】

申請者	静岡県牧之原市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	33,649千円 (33,649千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・通年で人を呼び込める当施設の宿泊エリアの拡張を行うことで、市内の滞在時間を延ばし、観光消費額の増加を図る。 ・当市の強みである富士山や駿河湾を望む景観を活用した空間の整備による、観光客の多様化を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【拠点整備事業経費】 ○地方創生施設の宿泊、交流機能の拡充事業 ・宿泊エリア拡張 8,000千円 (用途変更に伴う防災工事、飲食スペースの整備等) ・屋上改修工事 21,569千円 (人工芝、ウッドデッキの敷設等) ・屋上エリア整備 3,580千円 (備品購入費) 【効果促進事業（ソフト事業経費）】 ・ホームページ多言語化（委託料） 500千円						
地域の多様な 主体の参画	大学と共同で地元農産物を活用した商品開発に取り組み、販路開拓を推進するため、商工会議所等、地域内での連携を促進する。 道の駅の指定管理者にイベントを開催してもらい、利用者の増加等につなげるとともに、自治会と連携し、利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+47,831千円） ②カタショー・ワンラボの宿泊売上（+20,250千円） ③カタショー・ワンラボの利用者数（+6,920人） ④カタショー・ワンラボのSNSフォロワー数（+3,570件）

事業概要【関係人口の創出拡大と移住定住の推進事業】

旧制度（推進）

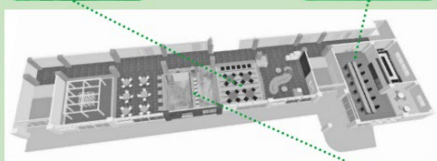
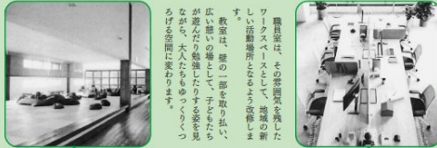
申請者	静岡県東伊豆町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	23,072千円（6,976千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・ 移住に関する様々な情報を見える化することで、関係人口の創出と移住定住の推進を図る。 ・ 「移住チャレンジしやすい町」を目指し保育園留学を実施し、子育て世代への移住促進を図る。 ・ 東伊豆ファンクラブ制度により、歴史・文化など町の魅力を会報等で情報発信しながら関係人口数を把握していくとともに、移住定住の促進を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少や担い手不足も深刻化し、地域経済の縮小が進む中、「住み続けたいまち」を目指し、移住・テレワークの促進、歴史や自然の魅力発信による郷土愛の醸成、子育て支援の充実により、若者や子育て世代に選ばれる町をつくることで、活気ある地域づくりを進めていく。 【主な経費】 ・ 空き家物件調査、エントリーページ運用・情報更新（委託料） 3,476千円 ・ 移住・子育て・ふるさと納税に関するパンフレット情報更新、印刷（印刷製本費） 200千円 ・ 保育園留学の運営支援（委託料） 3,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①移住者数（+25人） ②ファンクラブの会員数（+350人） ③保育園留学による経済流入額（+12,000千円） ④空き家バンク新規登録件数（+27件）		



関連URL

交付金の具体的使途
https://www.town.higashiizu.lg.jp/soshiki/kikaku_cyoseika/2/14/15/1854.html
外部有識者を含む検証機関
https://www.town.higashiizu.lg.jp/soshiki/kikaku_cyoseika/2/14/15/682.html

事業概要【多世代交流拠点施設整備事業】

申請者	静岡県東伊豆町						初回採択回	令和7年度第1回募集				
事業計画期間	R7年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	202,865千円 (202,865千円)				
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業		事業分野	まちづくり分野				
目的・効果	・ 閉園した幼稚園を改修し、子どもから高齢者までの多世代が交流する拠点として整備し、地域コミュニティの充実を図る。 ・ 移住者や二拠点居住者と地元住民間での交流など地域コミュニティの活性化により、多種多様な人材を活用し誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくりを促進する。											
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 日々隣り合う人が異なり、互いの知識や技術を交換しながら新たなコミュニケーションを生み出し、多世代間の交流あるいは移住者・二拠点居住者と地元住民間での交流など、地域コミュニティの活性化を目指し、誰でも気軽に立ち寄ることのできる交流拠点施設として改修整備を行う。 【拠点整備事業経費】 ○施設改修工事 ・建築工事費 78,232千円 ・工事管理費 3,465千円 ・機械設備工事費 43,428千円 ・電気設備工事費 32,032千円 ・仮設、解体工事 15,092千円 ・Wi-Fi工事 616千円 ○施設内スペースへの効果促進のための備品整備 ・備品整備費 30,000千円									完成イメージ (令和7年度冬頃完成予定) 		
地域の多様な 主体の参画	中学校や高校との共同イベントを通じて、地元伝統の継承など生涯学習の促進へ繋げる。 商工会、観光協会等による有識者会議の実施により、改善点の明確化と事業内容への反映に取り組む。また、住民団体等と連携し、ニーズ把握や集客方法の検討により活発な施設利用を促進する。						KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①当町への移住者数（+64人） ②施設内ワークスペース利用者数（+750人） ③交流拠点を活用する企業・民間団体数(+8団体)				

事業概要【産官学連携地域活性化事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県清水町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	5,682千円（1,841千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・若年層に対し、創業・マーケティングの基礎知識習得や起業家・町内企業との交流の機会を提供する。 ・若年層が地元で就業・創業・起業する機運を醸成し、若年層の東京圏への流出を抑制する。 ・若年層の地域への愛着形成及び地元企業・店舗の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ○産官学連携事業「沼商屋」 ・地元企業との商品開発やマーケティング・広報戦略等の特別授業のコーディネート委託する。（委託料）1,000千円 ○学生観光ボランティア育成等事業 ・観光ボランティアの業務を体験学習する機会を提供することで、地域のことを学んでもらうとともに、観光事業者と連携して観光商品や土産物（特産品）等の商品開発に取り組む。（委託料）500千円 ○町の課題解決事業 ・町内中学生からの「町への提言」や沼津商業1年生の総合的な学習の時間で実施している地域課題解決の授業から出てきた意見や提案を踏まえ、若年層が感じる町の課題を解決するための事業を実施する。（委託料）341千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+30人） ②町出身者の町内及び近隣市町の企業等への就職意向率（+8.9%） ③連携事業者数（+9者）		関連URL 令和7年9月公表予定

事業概要【道の駅ふじおやま「ベーカリー」整備事業】

申請者	静岡県小山町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	80,000千円 (80,000千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・「道の駅ふじおやま」及び「農村活性化センター」が「ここでしか買えない逸品」を備えた道の駅として、富士山周辺来訪者の定番の立ち寄り場所にステップアップさせるために必要な機能強化、魅力度向上に資する整備を行う。 ・商品を周辺観光施設でのケータリングやお土産品として提供するとともに、新たに設置するデジタルサイネージで施設をP Rすることで地域全体の観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 「道の駅ふじおやま」を増築し、製造工程を視覚、嗅覚で体験できる「見せるベーカリー」の機能を強化する。デジタルサイネージやデジタルオーダーシステムを導入し、動画による情報発信や効率的な受発注による売上向上を図る。「農村活性化センター」のベーカリー部門を惣菜製造部門における弁当詰め・梱包作業室とし、生産能力を強化する。 【拠点整備事業経費】 ・道の駅ベーカリー整備費：72,310千円 ・農村活性化センター改修費：5,560千円 ・デジタルサイネージ等設置費：2,130千円						
地域の多様な 主体の参画	整備した新たな施設において、道の駅の指定管理者が運営管理を行い、運営に当たっては地域食材の積極的な活用や生産者との連携強化、地域住民の雇用促進を図る。町及び株式会社おやまなどから地域の生産者の紹介を受けるとともに、地域内事業者の参画により、特産品開発等で連携し、地域の活性化を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	2030年度目標値 ①観光交流客数（+180万人） ②道の駅の利用者数（+36,000人） ③道の駅の物販売上額（+28,800千円） ④農村活性化センターの物販売上額（+5,000千円） ⑤道の駅の雇用者数（+8人）

事業概要【多文化共生推進事業】

申請者	静岡県川根本町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	4,449千円 (1,483千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 豊かな自然環境、観光資源や農業資源の特性を活かし、多文化共生を推進することで、地域の活性化を図る。 - 将来的には、川根本町に多様な文化が共存し、地域住民と訪問者が相互に理解し合い、協力し合う社会を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 本事業では、地域活性化として、地域住民の多文化共生意識の醸成や、地域全体で外国人材を支援し、外国人材が抱える課題を解決できる土壌づくり、外国人材の地域住民への認知度向上等、住みやすい地域づくりに資する取組を展開することで、多様な外国人材を地域で受容するための土台づくりから定着を目指す。 【ソフト事業経費】 ①外国人材を地域全体で支援する仕組みの検討と立上げ（委託料） ・事業費：1,001千円 ②地域住民と外国人材の交流事業（委託料） ・事業費：482千円					   	
地域の多様な 主体の参画	川根本町（官）が事業の調整を行い、受託事業者（産）による当該事業の管理・運営を実施する中で、自治会（住民全般）と連携し、行政だけでなく地域住民の意見やニーズを反映させることで、外国人材が抱える課題を解決できる土壌づくり等、多様な外国人材を地域で受容するための土台づくりから定着を目指す。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①当町への転入者数（増加が目標）（+30人） ②当町への転出者数（減少が目標）（▲50人） ③多文化共生イベントの参加者数（+4人）